

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（19）（20）」

2. 日時：令和5年7月26日（水） 16時00分～18時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部

執行役員 赤司副本部長 他9名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

〈〈本年7月21日に受取済み〉〉

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	はい、それではヒアリング始めます今日のヒアリングの案件としては、玄海原子力発電所 3 号炉及び 4 号炉の日本海、南西部の
00:00:13	海域活断層の長期評価だ一般の影響についてというのと、同じく川内の 12 号炉、長期評価の影響についてということで、
00:00:24	まず資料の説明の方からお願いします。
00:00:31	はい。九州電力の村上と申します。本日はよろしく申し上げます。
00:00:36	それでは資料、資料番号 PT-31 に基づき、玄海原子力発電所 3 号炉及び 4 号炉、日本海南西部の海域活断層の長期評価では一般の影響についてご説明させていただきます。
00:00:50	2 ページをお願いします。本日はこちらの目次に沿ってご説明させていただきます。
00:00:56	3 ページをお願いします。
00:00:58	まず、日本海南西部における海域活断層の長期評価の概要についてご説明いたします。
00:01:05	4 ページをお願いいたします。
00:01:08	地震本部は、日本海南西部の海域に分布する断層のうち、マグニチュード 7 程度以上の地震を発生させる可能性がある。長さ 20 キロ以上の活断層を主な対象としまして、
00:01:20	これまでに行われました調査研究成果等に基づき、評価対象海域における階級活断層の長期評価を、2022 年に初めて公表してございます。
00:01:31	今回の長期評価では、評価対象海域を中国地方北方木野東部及び中部区域、九州地域北方期の整備区域に区分して、
00:01:41	それぞれの海域における活断層及び地震活動の特徴について示されております。
00:01:47	4 ページには、地震本部にて公表されております、整備区域の断層分布図に玄海原子力発電所の位置を追記しておりますが、
00:01:57	29 番の白尾島沖断層体から、37 番の後藤第 1 体断層体の九つの海域断層が、分布する海されてございます。
00:02:08	次 5 ページをお願いします。
00:02:11	地震本部における、今回の長期評価に当たりましては、当社を含む各機関の反射断面及び海底地形図をもとに、海域活断層の認定がなされております、
00:02:21	地震本部が引用したデータを、左側の四角囲みの中に示してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:27	このうち、赤字で記載しております日本海地震津波調査プロジェクト、及び海域における断層情報総合評価プロジェクトが、当社の既許可以降に公表されたデータでございます。
00:02:42	次、7ページをお願いします。
00:02:45	ここから今回の長期評価による玄海原子力発電所への影響についてご説明させていただきます。8ページをお願いします。
00:02:54	まず、影響確認の方針についてご説明いたします。既許可時の評価フローを左側に示しておりますが、活断層評価に当たりましては文献調査に加え、当社にて実施しました各種調査を行い、
00:03:08	その結果をもとに活断層評価を行っております。
00:03:12	その後、地震動及び津波評価に当たりましては、活断層評価の結果を踏まえるとともに、地震本部の知見や不確かさを考慮した評価を実施してございます。
00:03:22	次に、今回の長期評価に対する影響確認の方針を右側に示しておりますが、
00:03:29	まず地震本部と当社の活断層評価の比較により、詳細な確認が必要な断層を抽出しまして、抽出、抽出した断層について、双方の差異を考察するなど、詳細の確認を行っております。
00:03:42	その後、
00:03:45	基準地震動及び基準津波それぞれへの影響を確認することとしております。
00:03:52	9ページをお願いします。
00:03:54	それではここから、既許可時の玄海原子力発電所における活断層評価について、
00:04:02	せ、ご説明させていただきます。
00:04:05	10ページをお願いします。
00:04:07	こちらには、既許可時における分、
00:04:10	文献による敷地周辺海域の断層分布図に、地震本部にて公表されました断層、薄いオレンジ色で示しておりますが、を重ね合わせたものを示しております。
00:04:21	概ね同じ位置に、断層が分布することが、
00:04:25	確認できるかと思えます。
00:04:28	次に11ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:31	こちらには既許可時における当社評価の断層分布図に、地震本部にて公表されております断層、青色で示しておりますが、それを重ね合わせたものでございます。こちらにつきましても同じように、
00:04:44	同じ位置に断層が分布することが確認いただけるかと思えます。
00:04:50	12 ページをお願いします。
00:04:52	詳細の確認が必要な断層を抽出するに当たりまして、概ね同じ位置に分布する断層について対比を行ってございます。
00:05:01	その代表表に整理しておりますが、これら断層のうち、卸近海断層体、
00:05:08	及び、第1五島田井断層体、
00:05:11	この二つの断層を、詳細な確認が必要な断層と抽出しまして、
00:05:16	以降ですね、両断層の評価内容を整理するとともに、当社活断層評価への影響検討を行っておりますので、そちらについてご説明させていただきます。
00:05:28	13 ページをお願いします。
00:05:31	こちらには、地震本部における尾野島近海断層の評価を示してございます。
00:05:36	尾野島近海断層体は、2005年福岡県西方沖地震の震源域の北側から東側にかけて五つする北西南東方向の、
00:05:47	長さ約63キロの左横ずれの断層であるとされておりまして、警護断層体周辺海域に位置するというふうにされてございます。
00:05:56	また、小野島付近に断層トレースのギャップが存在することから、
00:06:01	その北側の長瀬36キロを北西沖区間、南側の長さ28キロを東方沖区間とされております。
00:06:10	当社の許可評価におきましてはほぼ同位置に、1北東部の断層群及び警護断層体北西部の一部を評価しておりますが、
00:06:20	両者では、セグメントの位置が異なっております。
00:06:25	14 ページをお願いします。
00:06:27	こちらが当社の既許可評価における壱岐北東部の断層群及び警護断層体北西部の評価でございます。
00:06:37	壱岐北東部の断層群及び警護断層体北西部については、それぞれの特徴を記載してございますが、二つの断層群では、地質構造が異なること。
00:06:49	及び、警護断層体の北西延長部では、B層の基底面がほぼ水平な平坦な面をなし断層に伴う変状が認められないことから、当社としましては、連続しない異なる断層と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:02	いう評価をしております。
00:07:05	次、15 ページをお願いします。
00:07:09	次に、地震本部によります、第 1 五藤田井断層体の評価を示してご います。
00:07:14	第 1 五島田井断層体は、対馬の南方 65 キロ程度ぴあに分布する北東南 西方向の走向の長さ。
00:07:24	約 73 キロの右ずれ断層であり、北部、中部及び南部区間に区分すると いうふうにされております。
00:07:32	地震本部では、
00:07:34	当社九州電力や、海域における断層情報総合評価プロジェクト、
00:07:39	日本海地震津波調査プロジェクトによって、活断層が認定されていま すが、
00:07:45	それぞれが断層の認定範囲が一致しないと。
00:07:49	ということで、地震本部の評価では、それぞれの違いを評価できないと判 断し、それら全体を一連の活断層体としたと。
00:07:57	いうふうに記載がされております。
00:08:00	当社の結局評価では、当社及び他機関の音波探査記録をもとに断層評価 を行ってございまして、
00:08:08	北部区間に対応する位置に、福島北西沖断層群、
00:08:12	南部区間に対応する位置に、中通島西方沖断層群を評価しております。
00:08:18	16 ページをお願いします。
00:08:23	先ほど申し上げました、二つのプロジェクトと地震本部及び当社の気候 評価における後藤西方の断層分布の重ねをあわせを示してござい ます。
00:08:34	それぞれの断層評価を比較した結果、
00:08:37	断層情報総合評価プロジェクトが、地震本部の断層トレースと、最も類 似していると。
00:08:43	ということで、地震本部では、この断層情報総合評価プロジェクトの麻生 トレースを採用したのではないかとこのように考えております。
00:08:52	この断層情報総合評価プロジェクトでは、当該エリアについて、測線密 度が荒く隣り合う測線での連続性の判断が困難であるということから、
00:09:03	反射記録断面で特定できた断層について、海底地形図を用いて、連続性 を判断したというふうにされております。
00:09:13	次に 17 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:16	こちらには、当社の既許可評価における第1号藤田井断層大北藤付近の断層評価を示してございます。
00:09:24	当社は、当社及び他機関の音波探査記録をもとに、断層評価を実施しており、
00:09:32	F、
00:09:33	FGW2断層の南東については、海上保安庁の測線、SN1-17で、B4の3層より上位には変形構造がないことから、伏在断層と、
00:09:44	評価をしております、その延長線上にある当社測線No.19では、当該断層が確認されないことから、断層を認定しておりません。
00:09:56	次に18ページをお願いします。
00:09:58	こちらは、当社の既許可評価における館五藤断層大南付近の断層評価でございませう。
00:10:06	当社の音波探査記録をもとに、断層評価を実施しております、当該地に分布するFGW4断層については、当社測線のNo.23で、
00:10:17	変形構造が見られることから、断層と認定しておりますが、FujiiW4断層の北端及び南端につきましては、支社測線の、
00:10:28	ナンバー23。
00:10:30	で確認された断層が、
00:10:33	当社測線No.21及びNo.24で確認されないことから、これを止めの測線として評価をしております。
00:10:43	19ページをお願いします。
00:10:49	こちらに、ここまでの活断層評価におけるまとめを示しておりますが、
00:10:54	詳細な確認が必要な断層として抽出抽出した二つの断層について整理してございませう。
00:11:01	まず一つ目の、口の嶋金海断層体についてですが、地震本部と当社の既許可評価では、同様の位置に断層西が認定しているものの、
00:11:11	断層の区間分けの違いがあり、地震本部では、断層トレースのギャップが存在するということから顔受けを行っているのに対し、当社では、肥後断層、
00:11:22	内藤域北東部の断層群の地質構造の違いをもとに、断層を評価してございませう。
00:11:29	当社は、地震本部が評価に用いた産総研の音波探査記録に加えて、当社及び電力中央研究所のパターンは記録をもとに、断層性状を
00:11:41	詳細に分析した上で、セグメントを検討していること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:45	また、当該海域においては、新たな追加測線もないことから、
00:11:52	既許可の評価を見直す必要はないというふうに判断させていただきます。
00:11:57	次に、二つ目の第1後藤田井断層体についてですが、
00:12:02	地震本部は、当該断層体の認定にあたり、既許可以降の知見として、二つのプロジェクトを参照しており、
00:12:11	その内、海域における断層情報総合プロジェクトでは、使用した測線光岡新井。
00:12:17	ことから、海底地形をもとに、連続性を評価したとされております。
00:12:22	一方当社は、公的機関の測線記録及び、
00:12:26	当社独自のコンプライアンスをもとに、断層評価をしており、地震本部と差異のある中部区間につきましては、当社測線の音波探査記録をもとに、断層、
00:12:38	を認定してございません。
00:12:40	よって、
00:12:41	当社としましては、公的機関及び当社の音波探査記録をもとに、測線間隔を密にした上で、
00:12:48	断層の連続性評価を行っていることから、
00:12:52	二つの断層いずれにつきましても、既許可評価を見直す必要はないというふうに判断させていただきます。
00:12:59	以上、これらの二つの断層については、A-9の活断層評価を見直す必要がないと判断した。
00:13:08	ところでございますが、発電所の安全性に万全を期すため、念のため、既許可時の基準地震動及び基準津波への影響について検討を行っておりますので、事故以降、
00:13:20	8ページ。
00:13:21	以降でご説明いたします。20ページをお願いします。まず地震動評価への影響確認についてご説明いたします。
00:13:32	21ページをお願いします。
00:13:35	21、地震動評価への影響確認に当たりましては、前述の浦野嶋金海断層体及びない五島田井断層体を、
00:13:45	対象に検討を行っております。両断層とも区間分けがされておりますけれども、検討に用いる際は、断層の長さは全区間を一つとした場合の長さとして、
00:13:56	おります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:57	22 ページをお願いします。
00:14:00	こちらには、地震動評価への
00:14:03	影響確認のフローを示しておりますが、本検討におきましては、既許可時の内陸地殻内地震に伴う地震動評価におけるフローに基づき検討を行ってございます。
00:14:14	具体的には、エムデルダにより、震度 5 弱以上と想定される地震を抽出し、断層の長さや敷地からの距離により油による応答スペクトルを評価し、
00:14:24	既許可時の竹木場及び ZOA 南断層の二つの検討用地震で、
00:14:30	代表可能であるということを確認します。
00:14:33	で、応答スペクトルの比較の結果、基準地震動への影響の判断ができない断層が、
00:14:39	認められた場合には、当該断層に対して、基本震源モデルを構築し、
00:14:44	より詳細な地震動評価を行い影響を確認すると。
00:14:48	ということとしてございます。
00:14:51	23 ページをお願いします。
00:14:54	検討対象の二つの断層について、
00:14:58	マグニチュードと距離との江村折田による検討を行った結果、両断層とも、震度 5 弱以上の揺れが想定されることから、次に、応答スペクトルの比較を、
00:15:11	応答スペクトルの比較による検討にて影響確認を行っております。
00:15:16	24 ページをお願いします。
00:15:18	こちらに、応答スペクトルの比較による検討結果を示しております。右図に示します通り、既許可評価において、検討用地震として選定しました。
00:15:29	竹木場断層及び城野南断層による地震の方が、支配的であり、検討断層、断層検討対象である二つの断層による基準地震動への影響は、
00:15:40	ございません。
00:15:42	25 ページをお願いします。
00:15:45	次に、津波評価への影響確認についてです。
00:15:49	26 ページをお願いします。
00:15:52	津波評価への影響確認のフローを左側に示しておりますが、本検討におきましては、既許可時の海域活断層による地殻内地震の津波評価におけるフローに基づき検討を行ってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:16:06	具体的には、簡易予測式により算出した津波高と、結局は評価における簡易予測式下との比較を行い、
00:16:14	基準津波への影響を確認しまして、
00:16:17	簡易予測式結果の比較から、基準津波への影響が判断できない波源が認められた場合には、当該派遣に対して、不確かさを考慮したパラメータストーリーにより、
00:16:28	安全側の津波水位、水位を評価すると。
00:16:31	ということとしてございます。
00:16:34	27 ページをお願いします。
00:16:38	検討対象の二つの断層につきまして、簡易予測式による津波高の検討を行った結果、
00:16:44	推定津波高が
00:16:47	両者とも 1 メートル以上となったことから、数値シミュレーションによる検討にて影響確認を行ってございます。
00:16:55	28 ページをお願いします。
00:16:58	こちらに数値シミュレーションによる検討結果を示しておりますが、
00:17:02	表中に示します、最大水位変動量は、既許可評価における基準津波を下回っており、
00:17:10	検討対象である二つの断層による基準津波への影響は、
00:17:17	ないというふうに評価をしてございます。
00:17:21	29 ページをお願いします。最後にこれまでの説明のまとめになります。30 ページをお願いします。
00:17:29	今回地震本部が公表しました日本海南西部の海域活断層の長期評価について、真木許可時の評価フローに沿って、玄海原子力発電所への
00:17:40	玄海原子力発電所の既許可評価への影響確認を今回実施いたしました。
00:17:46	まず、海域活断層評価への影響に、
00:17:50	ついてです。
00:17:51	断層長さに着目し、比較を行った結果、地震本部により示されております、卸限界断層体と第 1 後藤田井断層体の二つの断層について、
00:18:02	当社評価との相違が見られましたが、
00:18:05	既許可評価では、既往の公的機関の測線に加え、
00:18:09	当社独自の音波探査記録等に基づき、惣菜な検討を実施していることから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:15	既許可評価における活断層評価は、を見直す必要がないというふうに判断してございます。
00:18:22	次に、念のため実施しました地震動津波評価への影響確認についてですが、
00:18:29	いずれも既許可図に設定した基準地震動及び基準津波を下回ることから、既許可時の地震動及び津波評価への影響もないということを確認してございます。
00:18:42	以上を踏まえ、今回、
00:18:44	地震本部より公表されました。
00:18:47	長期評価に対する、玄海原子力発電所への影響はないということを確認してございます。
00:18:55	なお、昨年9月に実施いただきましたヒアリングの際には、警護断層体と黒野島近海断層体が、
00:19:03	一連で活動した場合の検討について、資料をつけておりましたが、その位置付けについて、我々の方で再考しまして、
00:19:12	当社の既許可では、5断層タイト域北東部の断層体について、地質構造の違い等を基に連続しないとしていること、また、地震本部においても、
00:19:24	堅固な相対当路島近海断層体は、それぞれ単独の断層体とされていることから、今回の長期評価に対する影響評価は、不要と判断しまして、今回の資料には含めてございません。
00:19:37	玄海の方の説明は以上でございます。
00:19:44	引き続き川内も説明してよろしいですか。はい。
00:19:49	それでは資料番号 TT3-30 に基づき、州が灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価第二版の影響についてご説明させていただきます。
00:20:03	2ページをお願いします。こちらの目次に沿ってご説明させていただきます。
00:20:09	3ページをお願いします。
00:20:12	まず、日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価第二版、愛甲第2版と呼ばさせていただきます。の概要についてご説明いたします。
00:20:22	4ページをお願いします。
00:20:25	地震本部では、2004年に、
00:20:28	日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:34	を公表しておりますが、それ以降の最新知見等を踏まえ、今回、第2版が公表されたものでございます。
00:20:44	資料には、地震本部より公表されました概要資料を掲載しておりますけれども、第2版における改訂のポイントとしましては、最新の知見を踏まえた地震の再評価、
00:20:56	不確実性を踏まえ、現在の各地区、科学的知見を考慮した評価、
00:21:02	評価対象領域、地震の再編ということで2が挙げられております。
00:21:09	5ページをお願いします。
00:21:11	次に、初版、
00:21:13	からの変更点を整理しておりますので、その点についてご説明いたします。
00:21:19	6ページをお願いします。
00:21:22	初版からの主な変更点としましては、まず、評価対象領域について変更を範囲を変更、格段している点でございます。
00:21:32	この評価対象領域の変更拡大につきましては、次ページ以降で、各領域ごとにご説明させていただきます。
00:21:41	下の表中に、地震規模の比較を整理しておりますけれども、評価対象領域及び地震の範囲が、初版と第2版では異なることから、単純な比較提供はできないということで素案の方には、バーと、
00:21:54	記載をしております。
00:21:56	また、共通に巨大地震という表現を用いておりますが、今回の第2版では、マグニチュード8程度の地震を、巨大地震というふうに定義がなされております。
00:22:09	7ページをお願いします。
00:22:12	こちらに日向灘周辺領域のうち、注金田における変更点を整理しております。
00:22:19	まず、評価対象領域について、
00:22:22	第2版では、右側に示しております、2013年に公表された、南海トラフの地震活動の長期評価第二版における、
00:22:30	富崎から鎮目先へセグメントジェットと整合を図り、同一とされております。
00:22:37	地震規模につきましては、初版では最大で、マグニチュード7.6前後に対し、第2版では、巨大地震を導入し、地震規模の再設定がなされております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:49	浅い地震の発生形態につきましては、初版では、プレート間地震のみであったものに対して、第2版では、プレート間または沈み込んだフィリピン会プレートの内部ということで想定がなされております。
00:23:04	8ページをお願いします。
00:23:07	次に、広場等周辺領域のうち、稲田様の方、
00:23:12	豊後水道及び主九州中央部における変更点を整理してございます。
00:23:18	まず、稲田から弁護制度についてですが、
00:23:23	これまでの地震活動分布等に基づき、評価対象領域が初版、
00:23:28	から拡大されております。
00:23:31	評価。
00:23:32	対象地震の地震規模及び発生形態については、初版からの変更はございません。
00:23:38	次に、九州中央部についてですが、初版では、
00:23:42	九州から南西諸島周辺を一括して設定されていた。
00:23:47	評価対象領域が、九州南端周辺で分割がなされております。
00:23:54	評価対象地震の地震規模につきましては、初版では評価対象領域が、
00:24:00	長大であったことから、不明とされていましたが、第2版では、1900、
00:24:05	9年、マグニチュード7.6の地震と同程度のマグニチュード7から7.5の地震が発生するとされております。
00:24:14	発生形態につきましては、初版からの変更はございません。
00:24:18	次9ページをお願いします。
00:24:21	こちらには、南西諸島海溝周辺における変更点を整理してございます。
00:24:27	まず、評価対象領域についてですが、
00:24:30	南西諸島周辺におきましては、海溝軸の外側まで拡大されており、ランゲージ周辺においては、
00:24:38	台湾の東方沖で発生する地震による津波被害を考慮し台湾東岸まで領域が拡大されてございます。
00:24:47	地震規模につきましては、初版では評価対象領域が長大だったことから不明とされておりますが、
00:24:54	第2版では、南西諸島周辺及び柳沼周辺において、最大規模、マグニチュード8.0が設定されております。
00:25:03	加えて、将来発生する地震の評価として、1771年、地震津波の津波に首藤参考として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:13	津波マグニチュード 8.5 が設定をされております。
00:25:18	10 ページをお願いします。
00:25:20	ここから今回の長評価における、川内原子力発電所への影響についてご説明いたします。
00:25:27	11 ページをお願いします。
00:25:31	川内原子力発電所への影響確認に当たりましては、初版からの変更点及び既許可時におけるプレート間、プレート内地震に伴う地震動評価、津波評価を踏まえ、
00:25:43	第 2 版改訂に伴う影響について確認を行うことと、いうふうにしてございます。
00:25:49	まずこのページでは、地震動評価への影響確認についてご説明いたします。
00:25:55	既許可時における基準地震動策定に当たりましては、左側に評価プレー、評価フローを示しておりますが、
00:26:02	プレート間地震及びプレート内地震については敷地までの距離が十分に離れると離れているということから、敷地における揺れは震度 5 弱以上とは推定されず、
00:26:14	敷地に大きな影響を与える資料はないというふうに評価をしております。
00:26:19	また、免震構造施設設計用基準地震動策定に当たりましては、長周期体の地震動評価として、マグニチュード 9 クラスのプレート間地震を評価し、
00:26:31	基準地震動 Ss1 を下回ることを確認した上で、
00:26:35	長周期領域が Ss1 を上回るように設定をしております。
00:26:39	第 2 版による影響確認につきましても、既許可時と同様の視点で確認を行い、詳細は能勢、後程ご説明いたしますが、
00:26:49	敷地からの距離が十分に離れていることや、既許可前に M。
00:26:54	9 クラスを想定した評価を行っていることから、既許可評価への影響はないと。
00:26:59	いうふうに評価をしております。
00:27:02	12 ページをお願いします。
00:27:04	次に津波評価への影響確認についてでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:09	既許可時における基準津波の策定にあたりましては、左側に評価フローを示しておりますけれども、南海トラフから琉球海溝におけるプレート階プレート境界面の固着域に関する分析を行い、
00:27:23	その分析結果に基づく評価を行うとともに、
00:27:26	2011年東北地方太平洋沖地震による、
00:27:30	津波の教訓を踏まえた評価を行っております。
00:27:34	なお、海洋プレート内地震に伴う津波につきましては、想定される津波の規模及び敷地とプレート境界との位置関係から、プレート間地震に伴う津波に比べ、
00:27:44	影響が小さいという評価をしております。
00:27:48	第2版による影響確認につきましては、許可時と同様の視点で確認を行いまして、こちらも詳細は、
00:27:55	後程ご説明させていただきますが、既許可12mクラスをそう、M9クラスを想定した評価を行っていることなどから、
00:28:03	既許可評価影響は直すと、いうふうに評価をしております。
00:28:09	13ページをお願いします。
00:28:12	それでは地震動評価への影響について確認した結果の詳細についてご説明いたします。
00:28:19	まず、プレート間地震及びプレート内地震に対する影響確認としまして、既許可における評価結果を示しておりますが、
00:28:27	程度感地震としては、最大規模の地震である1662年の地震。
00:28:33	海洋プレート内地震として、
00:28:35	は、最大規模の地震である1909年、
00:28:39	地震、
00:28:42	については、敷地に影響を及ぼす、震度5弱以上とは推定されず、
00:28:48	敷地周辺の活断層による地震の影響の方が大きいということを確認しております。
00:28:56	次に14ページをお願いします。
00:28:59	次に、長周期地震動に関する確認としまして、既許可における評価結果を示しておりますが、
00:29:05	南海トラフの巨大地震Mw9.0による、仙田原子力発電所の揺れは、基準地震動を大きく下回るということを確認しております。
00:29:17	15ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:20	同様の検討といたしまして、琉球海溝における機器までの評価を示しております。
00:29:26	琉球海溝北部から、坪井による地震、Mw9.1 による閉川内原子力発電所の揺れは、こちらでも基準地震動を大きく下回るということを確認してございます。
00:29:38	16 ページをお願いします。
00:29:41	次に、津波評価への影響について確認した結果の詳細についてご説明させていただきます。
00:29:49	まず、南海トラフに関する確認としまして、既許可における評価を示してございます。
00:29:55	評価対象領域については、既許可評価では、南海トラフの地震活動の長期評価第二版及び、内閣府 2012 の知見を踏まえ、
00:30:04	内閣府により示されております日向灘を含む、南海トラフを津波波源として設定しておりますが、
00:30:12	既許可評価に用いた、内閣府と今回の長期評価第二版のモデルを比較したところ、相違点がないということを確認してございます。
00:30:23	次に、地震規模についてですが、既許可の津波評価で設定した地震規模は、日向灘を含む南海トラフ
00:30:30	Mw9.1、日向灘領域で比べ 8.6 相当であることから、今回公表された日向灘の巨大地震。
00:30:40	M8 程度を上回る規模として考慮をしてございます。
00:30:44	なお、習慣等領域で、Mw8.6 相当というのは、下の、
00:30:49	方に米印 1 で足を、
00:30:52	記載しておりますのでご参照いただければと思います。
00:30:57	次、17 ページをお願いします。
00:30:59	次に、琉球海溝に関する確認としまして、既許可における評価結果を示しております。
00:31:08	地震規模につきましては既許可評価では、こちらに示しております通り、
00:31:12	琉球海溝の北部で M だ分 8.7、中部で Mw8.8、南部で Mw8.9、それから北部から中部として Mw9.1 のプレート間地震を考慮してございます。
00:31:26	で、第 2 班における南西諸島及び柳沼周辺の地震規模 8.6、は、28.0 を上回る規模として考慮をしているということでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:39	18 ページをお願いします。
00:31:42	今回の第 2 版では、臨時前日ました通り、台湾東岸まで、評価対象領域が、
00:31:50	拡大されておりますけれども、既許可評価では、プレート間地震の津波波源モデルにおいて、台湾東岸まで設定したモデルにて評価を行ってございます。
00:32:02	次に 19 ページをお願いします。
00:32:05	また、既許可評価では、琉球海溝南部における、
00:32:10	滑り域の検討にあたり、台湾東岸までを滑り域を設定した。
00:32:15	検討波源についてシミュレーションを実施した上で、滑り位置の設定をしてございます。
00:32:22	従いまして、18 ページに記載の内容とあわせて、評価対象領域の拡大に伴う、
00:32:29	津波評価、津波伝播特性への影響はないというふうに判断してございます。
00:32:35	20 ページをお願いします。最後にこれまでの説明でございます。
00:32:39	21 ページをお願いします。
00:32:43	今回、地震本部により公表されました。
00:32:46	長期評価第二版について、第一パンからの変更点を整理した上で、川内原子力発電所への聞く。
00:32:53	既許可時の、
00:32:55	評価への影響確認を行うと。
00:32:58	言いました。
00:32:59	まず地震動評価につきましては、
00:33:02	プレート間、プレート内地震は敷地に影響を及ぼす地震の対象ではないことから、第 2 版改定による影響はなく、
00:33:09	また、長周期の地震動につきましても、0 第 2 版改訂を上回る規模を考慮済みであることから、
00:33:16	今回の改定に伴う影響はないと、いうふうに判断してございます。
00:33:22	次に、津波評価につきまして、
00:33:24	プレート間地震について、第 2 版改訂を上回る規模を考慮済みであること、また改訂に伴い変更拡大された評価対象領域についても、既許可で、
00:33:36	考慮済みの範囲であることから、津波評価にも影響はないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:33:40	いうふうに判断してございます。
00:33:43	また、プレート内地震については、プレート間地震と比較し影響が小さいことから、第2版改定による影響はございません。
00:33:50	以上を踏まえ、今回、地震本部より公表された長期評価第二版に対する、川内原子力発電所への既許可評価への影響はないということを確認してございます。
00:34:02	22ページをお願いします。
00:34:07	長期評価第二版に対する説明は以上となりますけれども、昨年、2022年の12月に、
00:34:14	産総研から20分の1開発室の三崎沖海底地質図が公表されておりますので、こちらについて触れさせていただきます。
00:34:24	23ページをお願いします。
00:34:27	こちらが産総研から公表されております、20番目、20万分の1、海洋地質でございます。
00:34:35	24ページをお願いします。
00:34:39	産総研では、愛知、
00:34:41	II、地質調査所元産総研になりますが、1984年実施した音波探査記録のデータに基づき、実質図が作成されております。
00:34:51	一方当社の既許可評価では、
00:34:54	今回の産総研が使用した。
00:34:57	地質調査を含む他機関の音波探査記録に加えて、当社が独自に調査した音波探査記録をもとに、活断層評価を実施しております。
00:35:08	従いまして、産総研さんが、今回使用した地質調査所のデータは、すでに聞くか評価に考慮済みであること、また、
00:35:17	当社の音波探査は、より測線、
00:35:20	間隔が密であり、高分解能な記録がえられていることから、今回の産総研の公表資料を踏まえても、当社の活断層評価には影響はないということを確認してございます。
00:35:34	説明は以上でございます。
00:35:42	起立をする形説明ありがとうございますそうすると説明の順番が限界。
00:35:49	日本海南西部の方が先に説明がありましたので先にこちらから、
00:35:54	国をしていきたい。
00:35:58	思います。
00:35:59	ちょっと元になるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:02	これ、結局いわゆる基準と、
00:36:06	適合性、いわゆるテンロクですね。
00:36:08	その記載との関係でいくと、いわゆる敷地周辺の活断層評価があり、もう細かく言うと思ってるんですけど、
00:36:16	地震動評価でいわゆる耐専でのスクリーニングがありその後の詳細な評価があり基準地震動がありっていうところで、
00:36:23	何か途中で、
00:36:25	何か万全を期してって、何かよく九州電力扱うセリフなんですけど、何かやりましたというのが、間に入ってるんでよくわからないんですけど。
00:36:32	これは、どの段階、
00:36:36	では影響等、この段階では影響がない影響がないというか、テンロクの内容ですよ。
00:36:41	ここに関係補正するかどうかという申請と、また切り離して、許可のそのテンロクとの関係というところどこに更新される情報が、
00:36:51	更新される情報があるんじゃないのかっていう、そこはまず教えてもらっていいですか。
00:36:59	九州電力から徳永です。今回の我々のこのスクリーニングについては基本的に今当社の考えといたしましては、活断層評価の影響確認、ここでスクリーニングアウト。
00:37:11	叱咤していると、いうふうに考えてございます。で、今回、地震本部の活断層評価と、当社の活断層評価を見比べたときにまず全体として、
00:37:23	基本的に先方がき評価した断層というのは当社も同じように、断層認定をもととしていて、ということ、それと、一部違うその小野島近海断層は第1号当貸っていうものがあるんですけども、断層の認定は糸川
00:37:37	心の島でいきますと同じであるということでセグメントの位置が違っていると、あと第1号タイプ若干見、認定できてないところも100キロ、家の近くのところでちょっとあたりはするんですけども、そもそも、
00:37:49	これは断層評価をもって、地震動津波評価っていうのは、もう影響がないだろうというふうに定性的に模範ジャッジできるということでございますので、
00:38:00	基本活断層評価で切っているというふうに考えてございます。ただし、定性的な部分を補足する意味で、念のため地震動津波の定量的な評価も行ったというような位置付けで考えてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:12	以上でございます。
00:38:17	はい。
00:38:18	ちょっと先行サイトっていうほどでもないんですけど同じ調教かって別の発電所でも状況を確認していて、
00:38:26	中国電力の方でいうと、いわゆるその活断層評価のところ、中国電気の場合は一つ、活断層が新たに加わりましたと言って当然それはその以降の地震動津波の影響の評価をして確認をしても影響がないというところまで説明していて、
00:38:44	その上で参考で、
00:38:49	自社のですね当然評価活断層評価の方がより新しいデータ性なんだと言いつつ、参考で地震動津波への影響を確認しましたという流れになるんですけど。
00:39:00	それとの関係で、御社の今回やられる地震動津波の影響というのはその参考と書かれているものに、
00:39:06	該当すると。
00:39:08	ということですか。
00:39:11	九州電力の徳永です。今鈴木さんがおっしゃられたものと同じ認識であり、我々としては行ってございます。以上でございます。
00:39:22	ちょっとその辺りがですね、何か、活断層評価のところ、否定した上で、
00:39:28	何か参考でやっているのか、ただ万全を期してというちょっとこの宙ぶらりんなですね。
00:39:33	よく聞くセリフによって後の位置付けがよくわからなくなってるのでそこははっきり書いてくださいと。
00:39:38	というのは全体の位置付けの話です。
00:39:43	その上で資料の中身ということって、長期評価の内容自体はあんまり何て言うんですかね、それは長期評価に書いてある内容なので、
00:39:54	事細かには触れませんが、例えばこの5ページ目ですね。
00:40:00	これは、
00:40:01	長期評価に、いわゆる長期評価、坪田地震本部 2022 なんですけどりあえず長期評価といったらこの状況課題一般だと思って聞いていただければと思うんですけど。
00:40:15	等、これは今日強化の中では九州電力ある、仙台の許可審査時のですね、データと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:40:24	いうものも、
00:40:25	含まれていると。
00:40:28	その上で引用したデータって書いてあるんですけど、例えばこの産総研 1985 とかですね安部ほか 2010 とか、
00:40:37	9 電の川内の許可のときよりも前に、
00:40:42	多分出てるのがこの石油天然ガスってもう黒字に書いてあるところまでですよね。これというのは、いわゆる教科仙台的許可時の時にはこれらのものというのは、
00:40:52	いわゆる文献として収集の対象に入っていて、それも含めて九州電力 2013 ができ上がっていると。
00:41:00	ということでしょうかそれともその当時から、この中に入っていないものがあるっていうのはあるんですか。
00:41:08	九州電力の徳永です。この 5 ページ目ですね地震本部が引用したデータの黒字で記載している部分、梶野以外ですね、のものにつきましては既許可時点で当社の中で引用して評価を行っているもの。
00:41:23	でございます。で、一部例えば阿部他の 2010 の A とかですね、どっちなか、B だったか忘れまして、B、A ですね、菊川断層の評価とかいうのも入ってありまして 100 キロ以遠の知見であったりそういったものもちょっと入っているので、
00:41:38	直接的にこの、我々の評価の中に廃液入っていないようなものも実はこの地震本部の書き方としては、しろとこういうふうに記載があったんでその転記をしているものではございますけども、
00:41:48	基本その期間の部分についても新築のスクリーンの中で、弊社の中でもきちんと見た上で評価を行っているというものでいこうと。
00:41:58	なんでちょっと既許可以降に公表されたか否かという前に、ここに書かれているもので、もともと捨てるべきものは捨てて、
00:42:09	当然範囲外のもの、日本から南西部のものなんで、
00:42:13	範囲としてもっと広いですよ。
00:42:15	広いので、そこは入ってませんと、あと捨わなくていいものなんで捨てませんと、ちょっとその辺をまずクリアにしてもらいたいのと、あとこのいわゆる二つのプロジェクトですね日本海、文科省の
00:42:28	東大地震研の方と海洋機構の JAMSTEC の方のプロジェクト。
00:42:34	これは確かに文書としては公表は後なんですけど、
00:42:39	ここで使っているデータですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:43	そういったものは何かこのあたり、新たにデータがとられたとかそういうものがあるのかないのかっていうのは確認されているんですか。
00:42:52	はい。九州電力の徳永です。まず一つずつなんですけども、JAMSTEC 断層情報総合評価プロジェクト下の方につきましては、基本引用している文献は我々も収集している文献。ええ。
00:43:06	産総研であったり、続メックの AID データであったり、そういったもので評価が総合的になされているものでございます。
00:43:13	で、もう一つ東大寺真剣につきましては、5 ページのその右の図のところの黒い、太字で書いてある赤いラインですね、これが東大寺シンケンの例が新たに
00:43:27	測線として走ったものでございましてこれは境界以降に東大寺シンケンが取得したデータというものでございます。
00:43:39	すみません、JAMSTEC の方がいいかと、右側の図で赤いっていうのが、
00:43:46	航空何本 1、2、
00:43:48	あとその網目状のところに 3、4、
00:43:52	もうこれ島根とか違うですかね、島根のさらにさっきの 5、6、南北入ってますけど、この図 D、いわゆる玄海の前に一応 2 本ぐらい。
00:44:02	2 本 3 本 4 本とありますけど、これですか、この 4 本。
00:44:07	近くで言うと 4 本。はい。
00:44:09	ぐらい、あと本とろうから南西方向に立ったなあ良子長いものも最初わかりました。
00:44:17	東経 131 と、
00:44:22	よりも西側ですよ。
00:44:24	ここで 1 本長いものが取って、それに直交するもので 4 本の計 5 本が、この辺りでとられていっていると。これが何かデータとしてはこれが、
00:44:36	新しいもので、
00:44:38	東大震研の方でやってる日本海地震津波票調査プロジェクトも、新しいデータをこれでそれ以外のものは、産総研だったり、何かそれで同じような、
00:44:50	ものを基に評価をしていると。
00:44:52	ということですか。ちょっとその辺りも、
00:44:55	どういうそのデータの方針があったのか、結局文書としては改めてプロジェクトとして再整理し直したとしてもですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:04	そのデータとして何か新しいものがあるのか。
00:45:08	というところの視点でちょっとまず
00:45:10	長期評価の概要としてまとめるのか、そのあとですすね、自社との影響の確認のところと同じような形でもう一度整理し直すのか、ちょっとそこがすねクリアになっていないので、
00:45:23	何が新しいのかってのがないままに、その断層評価の違いだけがぼんと後に幾つ出てくるので、まずその入口を整理してくれませんか。
00:45:33	はい、承知しました。今、ご指摘がありました通り、
00:45:36	既許可降に獲られた知見等が、明確にわかるように整理をさせていただきたいと思います。
00:45:41	以上です。
00:45:45	はい。
00:45:46	星子。
00:45:47	大石。
00:45:48	す。
00:45:49	それの上ですすね影響確認奉仕員というのが7ページ目からで、
00:45:56	活断層を、8ページかな、活断層評価の段階なのか。
00:46:03	地震動評価の方に行くのかということで、まずは抜かれる方で、活断層の長さとか位置とかですすね、新しいものが発見されたのかとかっていうのをやった上で、
00:46:17	その上で、実際に活断層評価として変わるのかどうかは丸2で、
00:46:23	さらに速攻行くと、③で地震動評価と、
00:46:26	いうことで、
00:46:27	10ページが、
00:46:31	手の評価でこれはもともと、
00:46:34	10ページの図は、地震本部 2022、
00:46:39	もう、
00:46:40	いえ、少し不凍不当い。
00:46:45	線ですすね。
00:46:46	これ以外はこれ許可のものって、いわゆる岡村ほか 2000、
00:46:51	岡村ほか 2014。
00:46:54	既許可評価の文献によるって、これは、この図自体は、地震本部 2022A 以外はこれは既許可時の図。
00:47:05	ではないか。日本海における大規模地震に関する調査検討会、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:10	岡村ほか 2014。
00:47:18	これわあなんか、あれ起業家のときって、2014 って入ってるんですけどっけ、これ。
00:47:26	九州電力の徳永です。この一番上の新日活のところから岡村ほか 2014 までの絵はですね、申請書にもつけて許可の絵になります。それに重ね描いたものを、
00:47:39	橙色の 2000、地震本部の 2022 で、玄海の最終的な敷地周辺の地質地質構造、海域活断層、陸域も含めての最終的な資料は平成 28 年 10 月 18 日ということで 2、2016 年ですね。
00:47:55	ものになってございます。
00:47:57	ごめんなさい。川内玄海の許可日を、すみません混同してました。そうすると、
00:48:03	九州電力 2013 って言うてるのは、そこ申請玄海の審査途中の、
00:48:10	審査会合資料か何かを引用されたってということなんだな多分状況、九州電力の徳永です地震本部の引用参考文献のところですね、
00:48:21	記載があるんですけども、第 63 回の審査会合の資料を引用されているようでかなり初期の頃のものになってございますで、
00:48:33	その時に提示した机上配付資料の、津島周辺海域の断層分布図の机上配付のデータですねそちらを引用したというふうに記載が参考文献のほうに記載がございます。
00:48:47	なるほど。ちなみに 2 ですけど確かに同じような形である時点のものを収集してたので島根なんかでも、多分審査の途中の審査会合資料、
00:48:58	どれかをなんか引用されていたようで、
00:49:01	あれ限界ってこそそのあとは特に何か改めて、あんまり限界の方で、活断層評価海域の活断層評価で何か、
00:49:10	再度審議して何とかっていう記憶もないんですけど、データとしては、下強化の 2016 の、
00:49:18	許可の間までで何か新しく見解の周りで、自社でデータ取ったとかっていうのは特にはない。
00:49:27	はい、九州電力の徳永です当社の方でその間に何か音波探査を取ったとかいうものはございません。多分申請当初からちょっと私もうろ覚えであれなんですけども、多分当時から最終的に仕上がる時に西山断層、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:40	の長さを確か 110 キロから 137 キロと、最初国交省内閣府の方で、評価を最終的に取り入れて 137 キロの評価に変えたぐらいだったというふうに、
00:49:50	記憶してございます。以上です。
00:49:54	はい、わかりました。じゃあ、10 ページのは純粹に本当に、2022 が足されたと。
00:50:02	次がですねえ。
00:50:06	何だっけこれ。
00:50:08	平島、広島、広島平島。
00:50:12	沖伊井断層体、何とか何とかってこれ、
00:50:15	あるんで、ポンポンポンと書いてあるのですけどうこれ 1112 ですね。
00:50:22	で、
00:50:25	※112 ページの※1※2 で東井野辺って書いてあるんですけど、
00:50:30	これ、すいませんもう前のページで、
00:50:34	例えば 11 ページとかに行っても 29。
00:50:38	-129-2 とかですね、書いてあるわけでもなく、
00:50:42	断層の名前が書いてあるわけでもなく、何となくこの辺のことなんだろうなという想像でしかちょっと見れないので、
00:50:50	今後の位置関係とかですね、わかるようにしておいてもらえませんか。11 ページ側に何か付け加えるんだと思いますけどね。
00:50:59	今、
00:51:00	藤沖なんで多分これはぜひ清 IA 南沖の北側にある、この辺りのどれか、何だろうなと思いますけどね。
00:51:10	ちょっとそこら辺が変わらないとですね、ちょっと※2※2 バッチ等見て、ああそうですかっていうふうにパッと入ってこないんですけど、もうよろしいですか。
00:51:21	下水電力の徳永です。申し上げ、ちょっと非常にわかりづらくて申し訳ございません。先ほどの平島沖他も含めまして、表と図がきちんとリンクするようにわかるように、図の方にも記載をしたいと思います。
00:51:34	ちなみにそのしら下期は補西山断層と書いてある北東側の青いラインのもので、津島北方 FTW-1 のさらに北東側にある部分が該当というものでございます。
00:51:49	以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



00:51:52	規制庁そういう同じ断層を別の名前であってというようなものを全部断層の名前書き始めると、まずが来ちゃっとするようなのであれば、必要なものだけとか、
00:52:04	或いはその 22 ページのその番号ですかね、これに対応するような形で記載したとか、あとそういう形です、これはここのことを言ってるんだなど。
00:52:15	わかるようにしていただきたいというのが注文です。
00:52:22	その上で一応評価が割れているというのが、
00:52:28	卸近海これ、
00:52:31	丹町評価の方で行ってるやつですね。
00:52:34	ポートは、大井っちゅうことを体感相対。
00:52:38	これが域北東部の断層群、
00:52:42	一部警護断層とかぶりますけど、この辺りと関連してくるので、
00:52:49	他は自社の方が長い顔なほぼ同じかと。
00:52:54	ということ、32 番の写しも、
00:52:58	藤水道断層これも、
00:53:00	いや 27 期と約 26 ですけどまあまあ、これもほとんど効いてこないでしょう。
00:53:06	いうぐらいですかね。はい。
00:53:11	じゃ、これで個別の方に行こうと思いますね。はい。
00:53:16	手厚い卸近海断層体ということで 13 ページなんですけど、
00:53:21	文章と添なくイメージを、
00:53:27	行くところ、これは地震本部に一部加筆で当社評価ってことで、左側の地震本部 2022 円に一部返してって、
00:53:38	これは何を加筆したんですかね。
00:53:43	はい。九州電力の徳永です。これに加筆したのはですね、青い、
00:53:47	矢印の範囲のラインと、あと黒い当社評価と対比するために線を追記したところが一部加筆という形にそういうことですね。右も左、その程度の話ですねはい。
00:54:01	その上で
00:54:03	31-1、
00:54:11	えーとですね、ちょっとこの黒線と黒点線の範囲が、
00:54:17	それぞれ何を指すのかよくわからないんですけど
00:54:21	上の黒線から上の黒、この点二つありますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:27	上の黒点線までが、これが地震本部で言う 31-1 北西沖区間、
00:54:39	へえ。
00:54:40	黒点線の間が、地震本部で言う 31-2。
00:54:48	東方沖
00:54:50	区間のうち、
00:54:54	9 電が許可で、
00:54:57	これは壱岐北東部の断層を、
00:55:02	分の一部という形で、9 電が評価上扱っている範囲で、
00:55:08	下の黒点線から一番下の黒線までが、
00:55:12	同じく地震本部の 31-2 のうち、これは許可で 9 電がこれ和气郷断層側の一部として扱っていた範囲。
00:55:21	いう。
00:55:23	ことですかねこれ。
00:55:25	九州電力の徳永です。すいませんこれ非常にまたわかりづらいんですけど一番上の横の水平のラインは、
00:55:32	地震本部の小野島金海断層の北西単位でうちのところでいきますとこの壱岐北東部の北西担当また、対応するというイメージで、この黒い線を引いてございます。
00:55:43	で、2 番目の上から 2 番目ですね、黒いライン点線のラインにつきましては、先ほど鈴木さんがおっしゃられた通り、地震本部が、断層トレースにギャップが存在するというので区間分けをしているこのちょうど区間分けのちょうど青い、
00:55:59	短い線が地震本部の中にあると思うんですけどそこのトレースのギャップ、31 と -1 と 31-2 を分けたところを点線でそれを水平 2 項道の評価では、
00:56:11	域北東の断層群としてのちょうど間センターぐらいのところの評価をしているところとして置いているというものです。さらにその下、上から 3 番目の黒い点線につきましては、
00:56:24	地震本部として特に何もあれはないんですけども当社としては壱岐北東の南東端、
00:56:30	-1、E を点線と示してございます。さらに一番最後の下のラインにつきましては、地震本部野呂島近海断層の南東丹で、当社でいけば、これ脇郷断層の一部と、
00:56:44	いう範囲ですよというふうなところで線を引いてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:56:49	以上でございます。
00:56:55	はい。
00:56:56	わかりました。
00:56:57	ここが割れてますと評価としてですね。
00:57:04	おかしいですねえ。ちなみにこの範囲って、さっき言った東大地震研でしたっけ。一部管理部は関与してるようなプロジェクトの方で新たに測線が取られたと言っている。
00:57:19	ところは、ここは該当はしない。
00:57:23	電力の黒瀬徳永です。床該当はしてない。
00:57:27	とか考えてございます。以上でございます。
00:57:36	なるほど。
00:57:38	ふうん。
00:57:44	ここが割れてるんだけど、14 ページからいくと、
00:57:50	結局これって既許可の時には我々こういうふうな評価をしてました丸しか書いていなくて、
00:57:57	その何とか地震本部の方では別の機関の取り方をしてるわけですよ。
00:58:03	それがどういふどこまで書いてあるかっていうところの根拠を書いてあるかにもよるんですけど、それと照らし合わせていやいやこれは許可時の評価。
00:58:13	区分けですね、これを維持するのが適切なんだという説明になってないと思うんですけど。
00:58:20	これは単に許可ではこうやってました。前のページで地震本部とは切り方が違いました。
00:58:29	としか書いていなくて、
00:58:31	結構仙台もそうですけどね、地震動評価とか津波評価に行く時に、ある程度その地震本部の九州地方の活断層の調教が大一般、
00:58:43	あと文献調査とか自社の調査とかそういったものを参考に、断層長さを設定して地震動評価します津波評価しますって流れになっていて、
00:58:51	そういったものに該当し得る一応文献なわけですよ海域ですね。
00:58:57	そうすると、許可の時なんかは割と地震本部でより長いところを設定してるんでとか。
00:59:04	そっちの方を優先して最後取りましたとあって仙台なんかでは、初期の頃ありましたけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:09	これは今回後発で出てきている文献ではあるんですけど、やっぱりこう二つ評価が割れたものに対して現状のものを維持するというからには、
00:59:20	片方許可のものだけせくりもう1回説明されて、はいいいなんですというふうに言われてもですね。
00:59:26	これはにわかにはわかりましたそうですねというふうに、
00:59:31	ほぼしがたいんですけど。
00:59:32	ここわ一何でこういう差が出たかってのは不明なんですか、これ。
00:59:39	はい。九州電力の徳永です。その地震本部の評価分の中に詳細にこのと、なぜこういう評価になったのかというのが明確に書かれているわけではないのでなかなか断定しにくいところはございますが、
00:59:52	一応断層認定をしたデータというのは先ほど5ページ目に記載があった。
00:59:58	この産総研のデータをベースに評価をしたというのが、記載がございません。
01:00:06	で、あとはこの、この断層とトレース、ここは基本断層トレースしてあって、あとはその間にギャップ、トレースのギャップがあるのでここ区間は消したということぐらいは書いてあるということなんですけれども。
01:00:21	そこの相違点と1といたしましては当社は当然、当然ながら産総研のデータを見てますが、さらにそれに加えて、当社の測線、並びに、
01:00:32	電中研さん、もしくは海保さんが、福岡県西方沖の後に調査されたデータ等も見て、この断層を評価をしてございます。
01:00:42	その評価の際に既許可の際に、
01:00:45	とけ後断層体の断層の性状、それと域北東部の断層群の性状をさらに詳細に分析をいたしまして、警護断層につきましてはよく左横ずれをする、
01:00:58	主体とする断層の特徴が海域の方でも見られると。そのは北西側に行きますと、断層がぱらぱらとスプレーゾーンになってきて
01:01:09	横ずれ断層の末端に見られるような特徴があるということで、
01:01:14	壱岐北東につきましては断層の走向が一定しないというのと一部火山性に関連した断層というふうに断層性状を詳細に分析した上でこの断層のセグメントを設定していると。
01:01:24	ということで、我々としてはここはしっかり評価ができていますものというふうに認識をしてございますのでここをまた改めて、その地震本部の部

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	分から上書きするということはしなくてよいだろうというふうに判断をしてございます。以上でございます。
01:01:40	なるほど。
01:01:41	すいません規制庁鈴木ですけど、何で5ページはざっくりと地震本部が、どこ、この
01:01:48	長期評価のどこかで引用している。
01:01:51	ものを網羅的に書いてある話で、当然1個1個の断層になってくると、もしかしたらこのエリアは、分担でどここのプロジェクトを優先するとかもあるのかもしれませんがね。
01:02:03	そうすると、次の号棟第1の方には書いてあるのかなんで、
01:02:08	このもともと長期評価の方では、
01:02:10	何のデータ。
01:02:14	をもとにやっていて、ちょっと今のお話だと産総研ですか、1985年86年の、
01:02:21	それに依拠してます別紙別にそれがある話では、我々がとやかくはこの場で問いかけ話じゃないんですけど、
01:02:30	やって定年者の場合は当然それも含んでさらに別のデータの組みいろいろ分析をして、ここだけ設定してるっていうことで、多分扱っているデータとか、
01:02:40	分析してるのところそこに差異があるっちゃうことなんですか。
01:02:46	ということなんだとすると、ちょっとそこはないとですね何か当社の14ページで当社は、当社は他機関の音波探査も記録等を基にとかって、
01:02:56	書いてもですね、いやそれもひっくるめて、最新の帳票が出たんじゃないのっていうふうに、
01:03:02	なるわけですよ。見えるわけですよ。
01:03:04	ちょっとそれがもし、使ってるデータに灰があって、
01:03:09	当然長期評価だって、これだけの広範囲のものを、その間ありとあらゆる最新のもので場所によっては当然9電がデータ取ったら電中研がとった。
01:03:19	海保がとったで取ってない範囲もありますよね。
01:03:22	そういったものを並べたときに、どこまでの方もデータを使って評価してくれるかっていうのは、
01:03:28	それはもう当然だから、こうだってマンパワーがある話だとは思いません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:33	もしその扱ってるデータに違いがそもそもあってということなんだとすると、それはそういうのがわかるようにはっきり書かないと、これは途端に意見が割れました 13 ページ。
01:03:44	14 ページ我々が許可こうやってました 0 っていう説明しかなってないので、これはちょっと説明不足じゃないかと思えますけどいかがですか。
01:03:54	九州電力の徳永です先ほど鈴木さんのご指摘の通りだと思いますので、ちょっと私、もう一度と、文章全部細かく覚えてないのでこれと、大まかに、
01:04:05	多分この産総研のデータをどう使ったっていうふうに書いてあったと思ってまして卸の金海断層に明確にそう書いてあったかどうかちょっと今一度確認をした上で、また改めてこの辺は整理をしっかりとして、1000 表現をさせていただきたいと思えます。
01:04:19	以上でございます。
01:04:22	はい。よし。
01:04:24	です。
01:04:25	ちょっとそういった流れもですね、向こうでこれはなんで前、
01:04:29	先行で、中国電力の方でもですね、
01:04:33	同じような整理をして、説明を我々伺ってますし、
01:04:38	もし活断層人程度の線ですと、取るのかっていうところに違いがあるんだったらそういうことかもしれないし、
01:04:46	ちょっとそのあたりですね、きちんとかからないと、
01:04:51	やっぱり新しい文献というのが出た分という評価ですよ。国の方が出たときにその差異を説明する目安きちんと丁寧に説明しないとですね。
01:05:01	きちんとそこら辺も含めて御社の中で、新知見スクリーニングはこれに限らずですけどね、やられているんだしたらそれはきちんと見える形にしないと
01:05:11	してもらわないとですね、我々としても確認ができないということですのでよろしくをお願いします。
01:05:17	続いて第 1 事を、田井。
01:05:21	断層体と長京香で言われているものですね。
01:05:25	これはもう少しシンプルなのかなあ。
01:05:30	これは 15 ページから
01:05:35	当時は FGWCFDW-2。
01:05:41	これを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:42	一つの
01:05:46	断層群として行って間はないので、
01:05:50	もう深井さん、藤井 W の 3 と 4、これで、
01:05:54	この中嶋藤西方沖断層、これ 1 個と、
01:05:59	間には対応するもの断層は認定していません。
01:06:05	で地震本部の方ではどうしたかという、北部区間の端部が若干短いのかなっていう。
01:06:15	そうですね、北の端が少し短いんだけど、
01:06:19	南側の中嶋沖等を、西方沖断層群と、37-3 はこれは、
01:06:28	ほぼほぼ一致してるのかな。
01:06:34	微妙に、南部区間が、2 ページだと 22 キロで、
01:06:39	御社の当時の評価だと約 19 だから、微妙に、
01:06:45	本部が違うのかちょっとあれか角度のとり方が違うのかな。
01:06:51	ここで若干の違いがあるんだけど一番はこの間の部分ということですね。
01:06:55	ここではですね、
01:06:57	ジッシン本
01:07:01	ふうでは、
01:07:03	これ、9 電の 2013 番で津島のところの音波探査の記録も、
01:07:10	含んでいて、
01:07:11	さらには、JAMSTEC 等々大地震研の、
01:07:17	データで JAMSTEC の方はもともとのベースは 9 電も参照しているもの。
01:07:23	ここは東大地震計の何か新しい測線で入ってくるんですか。
01:07:28	九州電力の徳永です。16 ページのところを見ていただければと思うんですけども、薄いグレーで書いてある、これちょっとわかりづらいかもしれないんですけど、東大地震計の測線も重ねた。
01:07:43	A を入れてるんですけども、
01:07:46	候補、一部 FGW 当社でいきますとこの FGW4 とか 3 の北東丹あたりに横断したような形のものが、地震本部、東大地震検査の方で、
01:07:58	1 本入っているというものでございます。
01:08:06	これは、
01:08:10	ああ、そうか、色が薄いのかなあ。
01:08:15	ふうん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:17	と。
01:08:19	そこ石油公団による調査測線等、
01:08:24	うん。
01:08:25	紙面上だと。
01:08:27	紙面上だとこれ石油公団による調査測線でこれ3本かなあ。
01:08:33	三本。
01:08:35	さらにもうちょっと小さくて薄くて柿木そうなのがこれが、
01:08:40	日本から東大の方の測線ですかね、どっちだっていうことですね、ショット番号が1000とかが、西麻生1000とか2000とか3342とこれが東大自身これが、はい。
01:08:54	のものになります。数字が見えるやつですね。それが、
01:08:59	南部の、
01:09:01	南部の北部、丹南部空間の北端ぐらいのところに、1000から2003、2395っていうのがあって、これが1本と。
01:09:13	で、あとは、もう1、北東、北部の北端よりもさらにもっと先のところに1000から10002000、30003342ってやつが1本、
01:09:25	あともう1本越冬期。
01:09:29	9001万1万。
01:09:32	これが一番長いやつか。
01:09:34	そういうことですね。
01:09:38	それがデータとしては新しくて、
01:09:41	ただ、ここの評価としては確かに北端よりも、
01:09:46	さらに先のところはかぶってるのは南部の南部家の方の1本なわけですか。
01:09:52	なるほど。
01:09:54	それが新しいと。
01:09:57	うん。出ただーいろいろなものを参照しているのです。あと、
01:10:02	断層の認定範囲は、ちょっと一致はしませんと。
01:10:07	定義それぞれの違いフォー化できない。
01:10:15	と判断し、
01:10:19	これは何ていうかひとまとめで評価しているプロンのってあるんですかこれこの文科省、JAMSTECの方であれ、東大震研のこのプロジェクトであれですね。
01:10:32	北部中部とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:10:36	今のところで、御社は、
01:10:40	藤南野、日本の整合面とは、
01:10:44	北に伸びないと。
01:10:47	何かの測線で確認されてここまでしかないと。ただ、今
01:10:53	お話に出た、1000 から 2000 という東大の測線は、ここに断層がありと して、
01:11:02	そのデータで、この、ここで見にくいんですけども黒い不
01:11:08	線で、北から南へ 1 本の断層をモデル化して、総合プロジェクトもそれ を概ね採用して、地震本部もそれを概ね採用して、
01:11:21	37123 を一連の断層という評価をしていると。
01:11:26	ということですよね。
01:11:28	そうすると御社は、このこの通りの測線で確認された。
01:11:33	断層の延長部等、地震、東大や地震本部が評価されているのを、
01:11:40	否定して、
01:11:42	いるわけですよね。それ、それに対しての評価の確認をされましたか。
01:11:51	九州電力の徳永です。東大地震計の日本海プロジェクトの知見も当然 我々も確認をしていますが、
01:12:00	当社としてこの FGW の 3 とか 4 の止めどだい地震研を比べて、ここが 違うとかっていうところも厳密なところまで今、確認ができてないの言 及を入ります。
01:12:13	なかなかできないという今状況でございます。
01:12:21	うん。武井町清宮ちょっとまさしくちょっと今そのあたりが重要なと ころで、
01:12:36	いやもともと御社が一応止め通してそのあたりがですね、1078 とか、
01:12:41	は大丈夫ですか。
01:12:43	もともと御社がとっていたデータの範囲等高それよりも、いわゆる中島 根井仲と堀沼尾西方沖断層群の、
01:12:55	丹二見線多分 FGW の 4 の一番北の端なのかなと止めてますよね。
01:13:01	止めているところよりももう少し北側のところで東大の測線が走ってい て、
01:13:07	そこで、
01:13:09	いわゆる文科省側の二つのプロジェクトはつなげているという評価して るんだとすると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:16	ちょっとそれが南から伸ばしてきたのが来たから、止められずにずっと伸ばしてきたのかも含めて、ちょっとそのあたりの差がですね、1078とか見ても、
01:13:25	何か御社がと、
01:13:27	ホテルとか既往のその介護の測線も含めてですけど、位置関係も含めてですけど、どうなってるのかがよくわからんのですよ。
01:13:36	疑って、1078でや我が社はですねこういうこと等でやっていますとだけここも説明されてもですね。
01:13:44	新しく測線がで走ってるんだとするとそこも含めてどうなのかというのが説明がないとですね。
01:13:51	これはなかなか、
01:13:54	はい。ここも、はいそうですかというのはいいがたいですね。
01:13:59	ちょっとそれまずう、早急にやってもらえませんかねえ。
01:14:04	そうしないとう。
01:14:06	南部、地震本部でいえば37-3の南部神田私文書で言えば、中通り島西方沖断層群の北端だし、
01:14:17	何かこの北淡部分のところに、何か新しい知見がデータが入ってきたということなのか。
01:14:25	御社が出てるようなそこまで三つに細かくはとってないので、これが何か北から延びてきて南側ですとですね、起きてきてしまっただけなのか。
01:14:35	そこら辺もよくわからなくなるので、
01:14:40	はい。九州電力の所荒瀬とこの辺りをきちんと整理をさせていただければと思いますんで、一応当社の評価は18ページにそのFTW4のところを書いているんですけども、
01:14:52	ナンバー21の測線と、ナンバー22の測線、こちらの中間止という形でまとめている状況なんですけどもこれに東大地震計の位置をもう少し綺麗に整理していけば少し見えてくるかところもあるかなと思いますので、
01:15:08	そこをちょっと綺麗に整理をして戸田自身が実際にどういう評価をしたのかとかもあわせて整理をさせて記載をさせていただければと思います。
01:15:20	はい。見込みました。
01:15:22	その上でた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:25	あとこれ自由だとかという和智の断層の概略位置図とかって、
01:15:31	そのいう7とかですね、18、或いはその16とかですねこれが何ていうか、
01:15:37	それ、それぞれどのあたりのものを見ているのかっていうのがですね。
01:15:41	何か100キロ150キロでかって書いてあるものが、同一の線なのかなと思ってみると確かに何かこう、半径のとり方とか、
01:15:51	円の位置関係とかからすると多分違うんですよね中心点が、多分別々の図なんだと思いますけど、
01:15:57	ちょっとその辺り水づらいんですね。
01:16:01	これはゲートFブルーにの南端だからこれは中なのを、
01:16:07	生徒、
01:16:10	地震本部でいうと北部区間の方ですね、こっちはまあいいのかもしれないんですけど、
01:16:16	18ページが、FW恩田からこれから南部区間で、
01:16:20	ここで止め切れていないんだとすると、
01:16:23	これももしかしたらですね、地震本部の方の勝海域活断層の
01:16:29	なんか認定を、どこどこの変位で見ているのかによって違うのかもしれないし、単に私は想像で言ってるだけなんですけど、
01:16:37	そののところも含めて、なぜ差が生じていてなぜ変えなくていいのかっていうところは、ここは新しくデータが出された区間なのであれば、それはよりしっかりと見ないと。
01:16:48	それでこういうのは新しい知見が出たときの分析としては、
01:16:53	足りてないんじゃないかと思いますがね。はい。
01:16:57	ちょっとこれは、すいません一旦まだやられてないのであればちょっとそこを見てもらわないとどうしようもないですね。
01:17:03	松井さん。
01:17:04	多分それは、
01:17:06	どうしようもないですよこれ。はい。
01:17:09	よろしいですか。はい。
01:17:14	はい。なんでちょっとそれでも副調整官どうぞお願いします。
01:17:23	あ、名倉です。
01:17:25	私もちょっと同じところが一番気になっていて、
01:17:29	16ページの、
01:17:33	日本海地震津波調査プロジェクト東大の方でしたかね、この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:37	測線、
01:17:39	ガー
01:17:40	FGWIIIとIVの特にIVの北端。
01:17:46	もうポイントになっている 18 ページのNo.21 測線とほぼ同じぐらいの位置にあるので、
01:17:53	ここら辺の止めの妥当性、
01:17:57	について、
01:17:59	この
01:18:01	東大のプロジェクトの
01:18:03	測線の結果と突き合わせをして止めの妥当性を、
01:18:10	説明をしないとイケないのかなあというちょっと何か、
01:18:15	ここら辺がちょっと気になっていてここら辺どうなんだろうっていうのは、今ちょっともう議論はされていますけど、私も同じようにこの止めのところの、
01:18:23	野田先生が新たに追加された東大のデータ、これで見れるかどうかって話はしようがちょっとよくわからないので何とも言えないんですけど。
01:18:33	これ必要に応じて、止めの妥当性を、
01:18:37	データ取り寄せるな流れにして確認を選外何か解釈を加えないと。
01:18:43	ちょっと説明つかないんじゃないかなというちょっと気はしました方がとって一番、私ちょっと今回の資料で気になりました。以上です。
01:18:55	はい。九州電力の徳永です。名倉名倉さんのご指摘も踏まえましてちょっと早急に整理させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。
01:19:07	はい。
01:19:08	二つですかね、目黒嶋と、第1号等を対談相対この部分については、
01:19:15	もう少しファクト整理して、終えて次のヒアリングでまた確認をしますと。
01:19:21	いうことで、
01:19:23	その上でですねなのでちょっとこの 19 ページのまとめがどうなるのかというのは、
01:19:30	それはさておきですね、一応御社でいうと 3 項でやっておりますということですかね地震動と津波の影響ということ取って、
01:19:40	へえ。
01:19:44	22 ページからフローに沿ってやっていくのとするんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:50	これは一応影響確認の対象にします。
01:19:55	一様高震度 5 弱以上には引っかけります。1023 ページですね。
01:20:04	検討用地震の選定の段階でどうかというと、
01:20:08	ここで、
01:20:10	用いるのいわゆる
01:20:16	やっぱり断層モデルの評価とかああいう詳細な評価に行く前に落ちますと、仮に、こういうものを考慮したとしても、
01:20:24	ということなのですかですねちょっと待ってくださいね。
01:20:37	これちょっと相場感がわからないんですけど 24 ページ 23 ページはこれ単純に震度 5 弱以上ですというだけなんでいいんですけど、
01:20:46	24 ページのところ、これ、検討地震として選び終わった武木場と城谷南しか書いてなくてですね。
01:20:54	これー、
01:20:56	武古川よりは明らかに小さいと。
01:21:00	さらに、ダイイチ古藤対談相対もこれ当院でかなり差があると。
01:21:08	ただ、城谷南と野呂島近海のものって、周期 0 点。
01:21:14	233 秒 4 秒ぐらいで重なってるのが一部逆転してるかわかんないんですけど。
01:21:22	これ多分、ほぼほぼ一緒ですよこれ。
01:21:24	で、ちょっとこの既許可のときに、の検討地震の選定って多分他にもっといっぱい断層があって、
01:21:33	で選んでいるものもあれば選んでないものがあるって、その評価のときにはこういう考えで、検討用地震として選ぶものと選ばないものを選別して、
01:21:43	そうすると今回のものも、それに照らせば選ばなくていいんですけど、
01:21:49	説明の、少し重ねて説明ってできますか。
01:21:55	多分許可のときにもうん中、一部の周期で尾山南断層、甲斐と一部の周期で同じぐらいだからといって別に検討地震に選びますとか、そういう判断を、
01:22:05	そんな微妙な判断であったのかなかったのかっていうのは、ちょっと過去の資料、あさってみれば出てくるんだと思うんですけど。
01:22:13	一部の周期でほぼほぼ一緒のようなものもあったけど、別に大山南のところ、一部の周期で超えたからといって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:21	選んでいるか、選ぶか選ばないかっていうとそれも選んでない、なかったんだと思いますけど、ちょっとそういうものがですね見える形にして、
01:22:29	してもらっていいですか。
01:22:31	一応なんか、そこはきちんと検討地震としてやるかどうかっていうのは、要は許可の流れに沿って当時の考え方に沿ってやると、検討人として選ばなくて良い。
01:22:42	ていう判断されてるわけですよこれ。
01:22:44	24 ページ。
01:22:48	九州電力の森ですと、今、ご認識、ご指摘の通りで、既許可のときの考え方としましては、一番大きいまず竹木場断層を検討用地震として選びます。
01:22:59	それから堂山南断層につきましては、敷地と活断層との関係から破壊こう重なって、地震動が大きくなるような特性も踏まえて、選定するという事で選定してまして、
01:23:12	期間評価の時は他の断層で例えばちょっと長大和に隠しているようなものもございますけど、そのような考え方で選んでおりません。
01:23:20	そのあたりをちょっと明確に資料にはちょっと記載相当を持っております。
01:23:34	ございます。若干ちょっと補足いたしますと、今盛が申しあげました通り、まず算当時地震、検討した結果、竹木場断層が飛び抜けてとまでは言いませんけどちょっと群を抜いて一番大きいということで選びまして、
01:23:47	その他はやっぱり 2 番目として見ると城山なんですけども周期の短いところについては他の断層もかぶるのというようなやつがございました。
01:23:58	ただし今盛が申しあげました通り城間南断層は、断層の走向として敷地に向かってまっすぐ向かってくるというような走向を持っているというのと、この野田のスペクトルの評価結果見ましても長周期がこう持ち上がるような傾向。
01:24:12	思ってますので、そういう観点要は敷地に対して特に波が重なって長周期で影響をもたらすような可能性があるというような観点で、
01:24:22	城山尾を選び、その他のやつをちょっと差をつけてるといふか、城山尾を選んでもというところがございます。
01:24:29	で、それも合わせてちょっとご説明できるようにちょっとここは考え方をもうちょっと書き出せればと思います。はい。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:43	はい。
01:24:44	そうですね。ある程度私もちょっと今資料見まして西山断層か。
01:24:49	西山断層体が多分、周期 0.234。
01:24:56	0.2 秒から 2 秒ぐらいかな、で微妙にこの
01:25:03	いわゆる城谷南断層谷本スペクトル講師だけ上回っているのですが、
01:25:11	江田西山断層体はその 2 断層、竹木場城山南と比較してサイトから距離が遠くて極めて遠くて、断層の走向が西山断層 THAI のように、城谷南かのように敷地に向かう破壊が敷地に向かうような、
01:25:25	方向にはないので、武木場と城野南選びましたとこういうロジックなわけですよ。
01:25:31	ちょっとそういうものと照らして、いやこれが明らかにですね、第 1 報当貸が総体のように、どうやっても、戦いにもなりませんみたいなものであればいいんですけど、
01:25:41	ちょっと微妙な部分もあるので、
01:25:43	ちょっとここはですねもう少し丁寧に説明してもらわないと、ちょっと評価の資料を見直さないとですね、引き直しながらちょっと話を聞かないと、多分公開の場で話を聞いても、
01:25:54	んとなってしまうので、ここはちょっと丁寧にやってもらうかも説明してもらえますか。
01:26:11	九州電力の盛でしようしました。こちらちょっと丁寧な記載を、
01:26:15	見直したいと思います。以上です。
01:26:19	はい。ちなみにですけど、これは何かここへるんですかほぼ同じぐらい、この周期 0.3 秒 4 秒ぐらい。
01:26:28	今はちょっと手元にないですか。
01:26:33	ちょっと今手元にデータがないので
01:26:36	正確なところちょっとわかりませんが、これなんかははっきりちょっと申し上げられませんが確かもうほぼ同等かちょっと超えてるぐらい、微妙に超えてるぐらいだったと思うのを意識しています。はい。
01:26:47	あと、卸近海だからだからけ 5 断層とかとおんなじような向きなんで、
01:26:54	考え方でいうと多分敷地についていうと、どっちになるんだ、西山断層体と。
01:27:01	おんなじような走向で、
01:27:06	長さをもっと短いのか、だから、敷地に破壊が進んでいくっていう方向ではないわけですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:12	て郷断層なり吉岐北東、
01:27:16	断層をあたりの、はい、わかりました。
01:27:20	何となくイメージがつきまして、はい。
01:27:23	それじゃ次津波ですかね。
01:27:26	河内らは、今は一応確認をしてみます。で、
01:27:33	これは弁津波で具合を阿部の式があって、パラスタでということになるんですけど、
01:27:44	これはそうかもともとあんまり日日本海が限界だから、
01:27:49	津波、阿部の試験津波高さもどっこいどっこいなところがあってこれは1メートルで、27 ページですかね。
01:27:57	拾う。
01:27:58	ているのこれ許可のときと同じですよ。多分そう、そうでございます。
01:28:03	そうするとどちらも一応1メートルのってところのスクリーニングにははい。
01:28:15	28 ページのところ、もう、
01:28:19	これもう、
01:28:21	傾斜滑り滑り量。
01:28:25	スピーコック。
01:28:28	これで全く同じなりました。
01:28:32	家傾斜 90° 。
01:28:35	のみ、滑り角を 0 から 33。
01:28:41	上端深さは 0 キロ。
01:28:45	あれこのケースだけでしたっけ。
01:28:49	何で許可の時のパラスタも含むのやり方範囲も含めて、
01:28:55	許可のときの当時残っていたような、
01:28:59	検討用津波って西山とかも残ってたんでしょう。
01:29:03	北条横手の家ごとに北東部断層群、
01:29:11	西山。
01:29:13	と、津島南西方沖断層は今回微妙に引っかかって、
01:29:20	いる。
01:29:22	ところわあ、
01:29:24	拾ってるのかな。ちょっと待ってくださいね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:29:29	卸近海断層体のところでいうと、既許可のときに和気郷断層台東域北東部分、
01:29:37	断層群がそれぞれ、阿部の式で1メートルを超えて詳細評価の対象になってるんで1回評価してるわけですね部分的には。
01:29:46	で、あともう一つの第1、
01:29:50	第1号棟、田井の方は、許可のときの、
01:29:57	評価でいうと、
01:30:02	でも、連動の対象が違うのか、ちょっと待ってくださいね。
01:30:08	既許可のときには、ああそうか、津島南西沖断層群と、
01:30:14	向島北西沖断層群のれん
01:30:19	等を見ているので、
01:30:22	微妙に引っかかっているのかこれも、
01:30:24	ただ、
01:30:25	連動させる場所が違うわけですね。
01:30:28	なるほど。
01:30:31	その時の評価の時にもう、何でかぶってる部分のねパラメーターは、多分何か振り方として新しく振るような知見もないでしょうし、多分日本海側なんで、
01:30:44	そんなにパラメータの振り方っていうのはある種、統一的な考えで、この95、滑り角0から30度みたいなやってるんだと思うんですけど。
01:30:54	これも評価のと機能評価。
01:30:56	ほぼほぼそのまま。
01:30:58	置き換えてやられている。
01:31:02	九州電力の徳永です。既許可のと同じパラスターケースを今回、尾野島近海断層体と第1後藤田井で実施した結果が28ページというふうに記載をさせていただきます。
01:31:18	乗る方、
01:31:24	麻生書き許可の時には、確かに、
01:31:27	西山断層体は海域の長さの部分で出っ張ってる長さもかなり長いし、
01:31:34	上昇側、確かにこの
01:31:37	今回ですね宇久島北西沖断層の28ページかな。
01:31:41	もうエリアは、だからかぶるわけですよ今回、いざ、
01:31:45	離れたもっと北側の津島南西沖の断層群と連動させていて、多分位置関係的に言うとそちらの方が敷地の前面に来るから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:31:55	結果としてもそちらの方が大きいので、
01:31:59	今回、仮に第1後藤田井断層体っていうの括りの仕方をしたとしても、
01:32:04	結果は下回りますと、そういうことですか。これは、
01:32:08	確かに検討用津波として検討俎上にのせるハードルが1メートルって、
01:32:15	周りとそのぐらいで切らないと何も拾えなくなっちゃうところもあるので、
01:32:21	はいはい。ここの流れも大体は理解し、やれることは理解しました。
01:32:31	ちょっとそうそう。
01:32:32	あとはここもそうですね許可と同じ間やり方をしているんですけどというところは、
01:32:38	基本的にやってたんで孔口同じやり方やってますとないと。
01:32:48	営業課の常盤西山も同じなのかやり方、多分それぞれの基本パラメータとか多分何かあると思うんですけど、その辺がわからないと。
01:32:56	何かここのパラメーターのこれでいいのかみたいな確認をですね。
01:33:01	も含めて、何か話を聞かないと、
01:33:04	結果が、
01:33:06	これで結果の推移だけですね、たどり着く前にそこの部分で何かつまづかれると困るので、話がですね、入ってこない。
01:33:16	はい。九州電力の徳永です既往の時にももう少し丁寧にですねパラメータスタディの資料とかもつけてございます。こちら基本、横ずれ断層ということで傾斜角を90°に設定した上で越智の方向を東と西で振っている滑り角につきましても、
01:33:33	この海域の大体のあたり、最大でも15度ということで、それを支える倍倍クレームと安全側にとって30度までパラスターをしたという実績もございますのでそのあたりの資料も含めましてこの辺の資料、
01:33:47	補足でつけたいと思います。以上でございます。
01:33:54	はい。よろしく申し上げます。
01:34:05	はい。そうすると、
01:34:09	仮にやったとしてもというところで30ページだけですねはいはい。
01:34:16	ントですかね。ちょっと、あと、仙台の方の日向灘もあるんですけど、
01:34:22	一旦、
01:34:24	ここの緒。
01:34:25	玄海の方の長期評価で確認飲食店あるから、じゃあ、谷さん。
01:34:33	駒谷です。12ページで、まず何か

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:38	影響がありそうな
01:34:41	確認しますと地震動評価と、
01:34:43	津波評価でっていう考えで作られてるんですけどそもそもこの
01:34:50	グレーのハッチングで書いてる断層だと。
01:34:54	かっていうのが、なんで長期評価と、9電の評価とで違うのかとか、その辺の説明っていうのが、
01:35:06	ないんだなと思ったわけなんですけど、これ本来、あれなんですかねこの。
01:35:12	29-1 だとか 29-2 の断層っていうのは、
01:35:17	9電としてはもうこれは断層を引かなくていいっていうこれをもってたっていうことなんですよねその辺の評価の違いってどう。
01:35:24	どうなってたんですか。はい。九州電力の徳永です。今谷さんをご指摘された通りでございますけれども、10ページのほうに文献断層として記載をしてございますが、
01:35:36	ここの位置にこういった文献の断層があるというのは認識をしてございました。ただ、さらに南西側に長大な西山断層というものがありますので、基本地震動津波評価をしていくのは、もうこの先生に活断層評価ではあるんですけども、最終的には地震津波評価に繋がっていくということで、
01:35:56	代表的な小西とおら同じ到来方向にある長大な西山断層があるということで、既許可で評価におきましてはこの評価を西山代表、西山断層に代表させていたというところがございます。で、
01:36:08	ここが今、※1 という形で12ページのところに簡略的に書いてございますのでちょっともう少しわかるように、記載をしたいとございます。
01:36:18	それと同じような記載をしているのが津島北方沖断層でございます。これはもう、150敷地のかなり遠いところでございますのでこれはもう基本、
01:36:30	評価の時から外していたというものでございます。これも同じように、文献断層としてはわか認識はしていたというものでございます。この辺ももう少し明確にわかるように記載をしたいと思っております。以上でございます。
01:36:45	井谷です。だから結局あの時わかってたんだけど別にこれは評価の評価にこう入れていなかったっていうことなんですけどねだから、今回ここに断層を書かれてもそれは別に変わりませんと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:57	ということだとすればこの説明でいいのかなと。
01:37:02	あとは、何か1キロ1キロ結局下の方が1キロ短いって、何かありますよね。
01:37:10	この2032番の津島。
01:37:13	東水道団。
01:37:15	そうですか。
01:37:18	こここれ1キロだったら、別にいいんですけどっていうのが、何か
01:37:25	1キロぐらいの違いなんかもういいんだっていう、そういう、
01:37:30	考えで、特に説明いらないうということなんです。
01:37:36	九州電力の徳永です。この津島東水道につきましては、当社の測線に加えまして、
01:37:46	産総研の測線であったり会報の測線で見ているわけなんですけども、
01:37:52	基本、
01:37:53	本活動評価なので地震津波評価を意識しすぎるのはよくないというのは理解しているつもりではあるんですけどまあ、あまりその長大な断層でもなく、敷地からかなり離れていて長大な断層でもない。
01:38:05	いうことも踏まえて、1、1相当基本、我々と同じようなところに書いてあるということでこの1キロ程度のものにつきましては当社評価と同等であろうというふうに認識をさせていただきます。
01:38:18	以上でございます。
01:38:39	規制庁サービスですけど、
01:38:41	私も全く12ページのこの部分が、
01:38:45	ちょっと気になったので確認をさせていただきたいんですけど。
01:38:48	全く同じことを、別の聞き方をしますけれども、
01:38:52	例えば12ページで、このグレーハッチングで、
01:38:57	されている二つありますね。
01:38:59	これって、御社が確認というか実施をされるという、8ページのフローに基づけば、
01:39:06	これはどこに該当しますか。
01:39:25	いや、なぜそういう、規制庁佐口ですけどお聞きしたのかということですね、12ページで、これって見ちゃうと、要は、断層の長さ等と敷地からの距離です。これで影響があるかどうかというのを判定してるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:39	8 ページってそんな、
01:39:42	判定とか判断の、
01:39:44	なるようなところって一切なくて、
01:39:47	一番最初の右からですよ、この影響確認方法の、
01:39:52	一番上は何かっていうと、
01:39:55	断層の長さが、推本で評価されてるものと評価の評価と、どれぐらい違うのか、どう違うのかっていうのを、
01:40:04	今見た上で、
01:40:06	同等以下っていうものは、もうスクリーニングアウトしますよ。
01:40:11	二つ目ですよ。
01:40:12	二つ目は、そのスクリーニングアウト。
01:40:16	方されなかったもの。
01:40:18	については詳細に確認をします。何がどういふふうに、
01:40:23	その評価をされているのか推本で、それに対して、既許可ではどういう評価をしていたのか。
01:40:30	それ、それで一応影響を検討しますよ。で、念のため地震動ではどうですか。
01:40:38	津波ではどうですかって言うのもやりますよというフローの中で、今 12 ページのグレーのハッチングって持ってこないですよこんな感じ。
01:40:46	なので、どこに該当するものなのか。
01:40:52	もしそれが、いや、もうそういう、
01:40:56	何か距離と、
01:40:57	長さとの関係。
01:41:00	も踏まえて評価を、何かするのであれば、8 ページのこのフローのどっかに、
01:41:06	何かそれが入ってないとおかしいと。
01:41:09	思いますので、
01:41:10	はい。ちょっとそこは、
01:41:12	少しですね、ご検討はいただきたいと思いますし、先ほどもこのフローに従えば、
01:41:20	この
01:41:22	同等以下っていうのが微妙なんですけどね。
01:41:25	1 キロはじゃあその同等と以下ととらえるかどうかというところもあるんですけど、ちょっとそのあたりで本当に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:41:34	この 8 ページと 12 ページがちゃんと整合しているかどうかというのは、
01:41:39	まずあの、
01:41:40	きちんと整理をしていただきたいと。
01:41:44	いうのと、
01:41:46	ちょっと細かいんですけどね。
01:41:47	すごく素朴な、
01:41:51	疑問も含めてちょっと確認をさせていただきたいんですけど。
01:41:58	この卸間の、
01:42:00	この分ですね。
01:42:02	何か後だと、ちょっと何かその判定の区分が違いますよう、
01:42:06	て御説明だったかな。
01:42:09	と。
01:42:10	思います。
01:42:13	何ページです。いや、12 ページでもいいんですけど、
01:42:17	11 ページとかって見ると、
01:42:21	駅北東
01:42:23	断層群、
01:42:25	警護断層が、これトータルで見れば繋がっているように評価を、
01:42:31	できるようなものなのでって考えると、
01:42:34	12 ページの表でですね。
01:42:37	これ下の計 5 断層と足してみると、
01:42:41	既許可の評価って、トータルで、
01:42:44	110。
01:42:46	早期の話をね、
01:42:48	これに対して推本で渡してみると、118 キロで何か 2 キロ足りないんですよ。
01:42:54	これって例えば 13 ページとかで、13 ページとか 14 ページとかで、
01:42:59	何かこのこの 2 キロ分ってどう違うのかって、
01:43:02	ちょっと教えてもらっていいですか。はい。九州電力の徳永です。13 ページをちょっと開いていただければと思うんですけども。
01:43:10	13 ページの左側の地震本部のに薄い黄色のラインがあるかと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:20	黄土色といいますか、これが家5断層を示して、地震本部の言うところの警護断層を示してございまして、茂呂嶋金海断層の赤いラインと一部ラップしている。
01:43:32	範囲がありますので、単純に立つことが今できて、できないと、単純足して企画することができていないという状態でございます。
01:43:43	規制庁さん藤瀬、ちなみにこれ、
01:43:47	下の、
01:43:49	なんでしたっけ
01:43:52	縁ありますよね。これ、右とスケールを一緒ですよ。
01:43:56	これ全然なんかスケール感としてこの黄色の位置が、じゃあ何キロかっていうと、
01:44:02	全然。
01:44:04	5キロよりも長くないですか。
01:44:06	なんかAppとかそういうのはあるかもしれないんですけど、ちょっと何かその2キロの違いよ。
01:44:13	どうなのかっていうのは、
01:44:16	ちょっとよくわからなかったんで、そういうオーバーラップなんかしてるところも含めて、
01:44:23	トータルの長さで、
01:44:25	本社が
01:44:27	この二つですね、警護断層体と意義北東部の断層群と、
01:44:32	いうものをトータルで示すとどれぐらいになって、
01:44:36	それに対して地震本部の警護断層当路島。
01:44:41	錦海断層体でしたっけ。
01:44:43	これを足すと、どれぐらいになって、その長さ同じネットですっていうのは、資料には示さなくてもいいですけどそれってわかります。
01:44:52	徳永です。私も正確な数字を覚えているわけではないんですけども、基本尾野島近海断層の北西担当域北東部の北西多賀一致してございますので、
01:45:05	基本的には当社の方が10キロ程度長いんじゃないかなと思いますというのが、宇都家5断層体との当社評価と地震本部20キロ差があるんですけども、これは陸側を10キロ伸ばしたような形で我々評価をしてございますけれどもその分、
01:45:22	我々の方が長い。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:23	評価をしていると。
01:45:26	ということになると思います。なので、我々が116キロぐらいと、多分地震本部が足すと106キロとか105キロとかちょっと正確な数字ちょっと今からちょっと調べないとあれですけど、多分そういうことになるかと思っています。
01:45:42	はい。わかりました。わかりましたというか、例えば13ページの先の黄色の線というのを見ればいいんですよ。例えば警護断層の北吉川というのは、
01:45:52	それでいいですよ。だから、北は、ほとんど、御社と地震フォームで同じぐらいの位置であって、南側が、
01:46:03	御社の方が、そういうもんより10キロぐらい長く見積もっているとか そういて
01:46:09	評価しているので、だからトータルとして見れば、御社の方が長いと、このあそこはわかりました。
01:46:20	ごめんなさいね規制庁サービスももう1回、ちょっと先ほど少しですね、確認した。
01:46:26	今度ですね、第1五藤田井断層体でしたっけ。
01:46:31	これの、
01:46:33	ちょっと書いてないので、
01:46:36	これも、
01:46:38	何かわかる人にしかわからないのかなと思ったのが、
01:46:42	今度一番南の止めな話なんですけど、
01:46:47	あれさっき何ページでしたっけ。
01:46:50	10、18ページ。
01:46:53	皆、南の端っていうのはこれ、
01:46:57	FTW いうの3ですよ。
01:47:01	3というのは、多分この下に薄く何か線が引いてあるんですけどこれと、このNo. 24の、
01:47:08	相田とか真ん中で止めていると。
01:47:11	いう、まずまずその理解でいいかどうか教えてください。はい。九州電力の徳永です。FujiiW3の南側の止めは、佐口さんがおっしゃられた通り、下の城久米久野測線で止めてございます。
01:47:26	はい。規制庁佐治そこわかりましたそれで、もう1回ちょっと11ページの2ページに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



01:47:31	戻っていただいて、結局この、
01:47:35	第1号と甲斐断層体ってのが全部で、一応推本では、地震本部では評価長さとしては73キロですね。
01:47:44	で、御社がいや先ほどとまたおんなじ話になるんですけど、北から南まで宇久島北西沖断層群と、
01:47:54	それから仲野理事ここですね、
01:47:57	北から南まで全部、
01:47:59	こう、こう見た場合に、その長さって、どちらがちょっと長くなるのか教えてもらっていいですか。
01:48:08	はい。九州電力の徳永です。これちょっと先ほどの警護断層程度のものを私が今頭の中に入っていないんで恐縮なんですけど11ページを見ていただくと、
01:48:18	左下の方に浮く北西沖断層群と中道李嶋西方沖断層群と、今回の地震本部を重ねた絵がございまして、
01:48:29	北東の方につきましては当社の方が若干長いという形で、逆に南側の方に行きますと若干地震本部の方が長いということでこれのトレードオフかなということで長さ的には同等ぐらいかなと今目読みですけれども、
01:48:46	見てございます。以上でございます。
01:48:49	はい規制庁佐賀です。なので、トータルとして見れば、御社の方が長いのもかもしれないんですけどでも既許可の時の評価上御社は別にトータルとして見ていなくてあくまでも、
01:49:03	これは二つ。
01:49:04	分けてそれぞれ考えているので、そうすると、例えば、
01:49:09	最後の方で、例えば地震動評価上どうか。
01:49:13	とか津波評価上どうかっていう、そういう話が出てくる。
01:49:18	加茂加茂っていうか出てくるので、
01:49:20	御社は念のため、
01:49:23	そういうところも見てみましたという理解ですか。それとも全然違いますか教えてください。はい。九州電力の徳永です。我々といたしましては
01:49:34	第1号田井断層体と当社評価を比べまして我々の方が測線間隔を密に評価ができていうふうに理解をしておりますので、
01:49:44	冒頭、ご説明を差し上げました通り、活断層の評価として、これは切っているという理解をしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:49:52	なので佐合後ろの方の地震動を、津波評価につきましては、あくまで五つに参考でという形をとってございます。以上でございます。
01:50:05	はい。規制庁佐瀬わかりましたそういう位置付けっていうところを含めてですねそれが多分、鈴木の方が、最初の方に少し確認をした断層評価で、
01:50:16	もうこれでええと、
01:50:18	終わりという話であればもうそこで終わってもらっても当然いいんですけど、なので、わざわざ地震動評価とか津波評価までやる意味というのか、その位置付けっていうのがですね、ちょっとよくわからない部分もあるので、
01:50:31	そのあたりはやっぱり、次回でももう1回ちゃんと整理してですね、ご説明いただければと思いますのでそこをよろしくお願いします。
01:50:42	九州電力の徳永です。承知いたしました。
01:50:52	はい。ぜひですねちょっとそこら辺を整理してもらわないと、何かもちろん念のためにありました参考の影響確認で、
01:50:59	長さでやるのが良いのか。
01:51:03	どうなのかというところですね。
01:51:07	中通島西方沖断層群なんか南端部分が微妙に違うってそう長いんだったら、じゃあつなげたら、
01:51:13	もうちょっと長い長さで医局にするんじゃないのとかですね、そういう話にもなるわけなんで、はい。よろしくお願いします。じゃあ、もう一つの長期評価の方いきましようか。
01:51:25	へえ。ちょっと待ってください。根井。
01:51:31	あとごめんなさい。
01:51:35	後ハザード評価上なんですけど、これは何ですかね。
01:51:41	海域活断層の長さの長期評価なわけでハザード評価でいくと活断層の長さが変わってないので、
01:51:50	地震動で言うところの特定震源の特定が変わらない。
01:51:56	今回これ別に発生確率だとか、
01:51:59	主要な断層のところの評価が変わるわけではないのかな、ちょっとそこら辺は、
01:52:06	ちょっと次のヒアリング時でもいいですけどなんか今何も書いていないので、ちょっと考えは今あるんだったら考えをちょっと聞かせてもらっていいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:52:15	九州電力の徳永です。
01:52:19	参考といいながらこれ今、結果的に地震動評価津波評価への影響確認という形でお示しをしておりますが相違があったところを大きくこの小野島近海断層と第1後藤田井と、
01:52:31	ということで、まずこの尾野島近海断層体につきましては、ちょっとセグメントの位置は違えど同じ範囲の中の断層認定は当社も認定をしています。これを、
01:52:43	当間踏まえて、ハザードを既許可では作成をしていき北東とK5断層という形で表ハザード評価をしているということと、第1号体につきましてもかなり距離があると。
01:52:55	ということで、地震動の影響もごくわずかということで津波評価につきましても、第1五藤田井計算したとしてもこの中で20センチとか30センチ程度ということ非常に軽微ということで、地震及び津波のハザードには、
01:53:11	今のところやったとしても影響もすごく軽微だろうともうほとんど変わらないだろうという見立てをしております。以上でございます。
01:53:21	はい。なんで、第1原則としては活断層評価自体が変わってないの全く変わりませんなんですけど。
01:53:27	仮に0地震動評価津波評価と同じように仮にこういう考えをとったとしても、効いてこないだろうということですね今の説明は。
01:53:38	はい。
01:53:39	すいませんちょっと仙台の方ですかね、行きましょうか。
01:53:43	こちらは逆に言うと去年の9月伊方でも同じ評価
01:53:51	を多分公開の場で伺っていて、
01:53:55	ただそれと同じなのかというと、若干これも給電オリジナルに、
01:54:04	あるのかなと。
01:54:06	思ってます最初はあれですかね、4ページから超強化そのものの、
01:54:10	本概要なんですけど
01:54:14	ちょっとこの部分ですね。
01:54:17	問い方とかだと、この長期評価の概要の説明とともに、この長期評価の、
01:54:25	この部分が、我々の許可の評価と関係してきますっていうのが、入口がですね、頭整理された上で説明が入ってくるんですけど、今多分淡々と長期評価が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:54:38	述べられていてですね、これが後の説明とどう関係していくのか、9ページまで読んでも不明なまま、
01:54:46	10ページに以降にあって、いや、我が社はM9で見ましたんで関係ありませんという説明に繋がっていくんで、
01:54:53	ちょっとまずその長期評価は、許可のときにこれ手代一般で、
01:54:58	どういう使い方をしてたんですか。
01:55:03	九州電力の徳永ですと許可の時には網主に津波の方で見ているんですけども、履歴自身としてやや津波であったり機械地震であったりっていう、昔大きな地震がありましたというところを見ているっていうのと、
01:55:21	海溝軸野瀬モデルを計算すると海溝軸の設定で第1版を参照しているというものでございます。
01:55:33	はい。逆に言うと、地震動の方では、敷地周辺の地震発生状況だとか被害地震だとかということも含めて、許可では参照していない。
01:55:45	ということですかね。
01:55:53	九州電力の盛です。はい、江藤地震動の方ではもう、
01:55:58	プレート間地震プレート内地震につきましては今お話の通り、
01:56:02	履歴地震等を確認しまして、このプレート間地震プレートの地震については影響がないということで、
01:56:08	ちょっと確認をしてございまして地震動の方では審査上、確認、ご説明してないということになります。
01:56:17	なので、その影響がないという確認の時に、
01:56:22	データとして、
01:56:23	既往地震のデータとして殺傷はしていないんですかということなんですけど、或いは協力機関というと、伊方はこちら検討用地震として選定。
01:56:33	するサイトではあるんですけど、
01:56:36	もともと多分、今回の長期評価で、過去に発生した地震っていうのが、第1版と第2版で、これは伊方の、
01:56:45	周辺ではありますけどね。
01:56:47	多分新しく従来地震規模とか、
01:56:52	発生MRが1000例えば1768年8月29日M7.8とかですね。
01:56:59	多分、キーワードのところて、従来第一波には入ってなかったような地震。
01:57:05	追加をされたりとかですね、微妙に変わってるわけですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:57:10	一応言い方の方を検討用地震としてプレート内とかプレート間とか、両方かな。
01:57:16	見ているので、かなりこの辺の情報も整理した上で、いわゆる本社でいうと被害地震、
01:57:26	とかそのフローですかね、震度で敷地周辺の地震発生状況、周辺の被害地震、これが震度5弱程度とかっていう、この辺に該当するようなところでは、
01:57:39	仲本のこの時って使って、
01:57:42	ただ一般は一切関係、この段階から、
01:57:45	移行で関係ないのは何となくイメージを受けますけどね。
01:57:53	九州電力の盛でございます。第1版で引用されてますようなこの領域のですね、設定に用いられてますような被害地震というのは、
01:58:04	例えば13ページでお示ししましたような、エムデルダでの比較ですね。
01:58:11	このような過去の敷地周辺で発生した、プレート間地震海洋プレート内地震も含めまして、
01:58:18	被害地震を確認しまして、スクリーニングをしております。ですので直接的にこの第1版というものを参照しているわけではございませんけど、その中の知見として取り込まれている被害地震というものは、
01:58:32	一応スクリーニングをかけて、影響がないということを確認しております。
01:58:48	何でせっかくだからじゃあんまりそこの各論にすぐ入りたくはなかったんですけど、
01:58:52	じゃあですよ。当然、
01:58:56	閉なんだ。ちょっと待ってくださいね第1班と第2班で伊方の方を見ると、新しくいくつかのものが追加されていて、意見が変わるわけですね。日程によって変わりますとこれ一旦言い方が、の周辺ではそうだったというだけな。
01:59:11	だけど、
01:59:12	13ページのこのエミュレーターのところ、
01:59:16	入ってるプレート内とか海洋プレートを
01:59:19	プレート歌謡プレート内ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:59:21	というのは、これは今書いてあるのはこれ許可の時ですかね最大規模の地震 1662 年、9 が大隈の地震 M7.7 の 2 分の 1 から 4 分の 3、1909 年宮。
01:59:33	県西部の地震。
01:59:36	というのが一番影響が大きくてそれでも 5 弱以上の地震はなくというのは、そこ変わらんわけですねこれ。
01:59:49	九州電力の盛です。
01:59:51	既許可のときに、見てます
01:59:55	1909 年、宮崎県西部の地震ですね、こちらのプレート内地震として今回、第 2 版の改訂でもこちらの規模を参考に
02:00:04	九州中央部の沈み込んだプレート内地震というものが評価されてまして、こちらをまず今回変更でこの影響のあるものではないと考えております。また 1662 年の日向大隅の地震こちらにつきましても、今回の
02:00:18	評価では、
02:00:19	日向灘で M8 程度の地震が考慮されるということですけど、敷地から 100 キロ程度、
02:00:26	100 キロ以上離れてるというところで、
02:00:28	仮にこの M8 程度の地震、
02:00:31	が出てくるものになりましても、敷地周辺の活断層による今揺れの方が大きく推定されるってということが、13 ページの左下の図ですね。
02:00:41	中丸で囲んでます三つの検討用地震の方の影響が明らかに大きいということがわかりますので、
02:00:47	影響はないというふうに考えてございます。
02:00:54	と言うのは、
02:00:56	これは 13 ページで言うところこれ第 114 回審査会合ですけど、
02:01:02	本来だと、ここに、
02:01:06	今回、長期評価の第 2 版で追加された地震が、
02:01:11	プロットされて、
02:01:13	上で、それでも、
02:01:16	一応 5909 年宮城県西部の地震、2662 年日向横坑の地震が、それぞれの一番大きいものでそれでも M 震度 5 弱、安保 500 以上にはなりません。
02:01:28	ということなんだと思うんですけどね。
02:01:33	その辺りが、ただここは何となく、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:01:37	長期評価を踏まえても、今日なさそうだなということで何かすっ飛ばされてるような気がしていて、
02:01:44	もう少しちょっと伊方の場合はその先の検討地震の選定というところにも効いてくるわけなんですけど、
02:01:51	御社のフローでいうと、その被害地震の状況とかってここからスタートしたわけですから影響確認。
02:01:58	ここにどう関係してくるのかというのは冒頭申し上げたように許可なので、長期評価の第1番手と。
02:02:05	に書いてあるよう或いはどう使い方をしている、今回第2は
02:02:10	許可で見てるテンロクの情報で、
02:02:12	実際変えるかは別ですよ。
02:02:16	1を足すだけになるんですけどっていうところをいじくるかは別にして、どう関係してきてるのかというのはちょっとそこまではっきりしてもらいたいんですけど。
02:02:25	その上で、そこはよろしいですか。
02:02:32	九州電力の盛でございます。今ちょっと対一般の関わりがですねちょっと、
02:02:37	わからない状態になってることと被害地震との関係ですね、こちらは今ちょっと曖昧なちょっと記載になっていると思いますので、そちらちょっと検討したいと思います。
02:02:48	はい。多分御社の敷地からの使用距離200キロ200キロあたりで多分線引してる。
02:02:56	方を見ても多分200キロよりも遠いんでこれ別に、メルターであってもねっていうのはもちろんあるんですけど、
02:03:05	そのあたりがですね判然としないので
02:03:10	地震の特に地震の方ですね、どこから、
02:03:13	はじかれているのかというのがよくわからない。
02:03:17	その上、
02:03:24	長期評価のそれぞれの評価のところは、助教課長会であるだけの話なんです、
02:03:30	あそこは飛ばしますが、何で11ページからですね、何度も申し上げたように、
02:03:36	この地震発生状況敷地への被害地震、この辺で何か母数として何か更新されるようなものがあつたのかなのかというのがよく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:03:48	わからない
02:03:50	あくまで教官のときにはこうでした。
02:03:53	いやそれを上書きするような情報がなかったんですかをむしろ聞きたかったので、
02:03:58	今 13 ページは許可の時にはこうでしたという説明だけなんでこっちもですね。
02:04:03	よくわからんなというところですよ。
02:04:06	何となくいきなりここで、震度 5 弱以上を超えるようなものがポーンと出てくるとは、にわかには思いませんがね。はい。
02:04:18	もしそこで震度 5 弱位を超えるようなものがあればこれ多分次体制の方に行くわけですよ。では次はじけないわけなんで、
02:04:25	なんでそこはやっぱりここで切りますっていうんだったら、そこはしっかりとわかるように書いてくださいと。
02:04:35	次カー。
02:04:38	そうするとプレート間プレート内地震はそもそも検討用耐震耐専使った検討にすらいかないので、足を切られましたと、足切りされますと。
02:04:50	次が、これは
02:04:54	SsL。
02:04:58	ふうん。
02:05:04	これワーSs-N1 許可の資料を抜粋し一部加筆って言ってるのは、
02:05:14	既許可の資料って言ってるのは、
02:05:18	この南海トラフ陸側ケースとかも含めてこの全体ですかそれとも抜粋したこの評価結果って右側のやつですかね。
02:05:27	なんかどこを抜粋して、何か一部集荷しつつってどれを加筆したんですかちょっと教えてもらって、ここは単純。
02:05:36	九州電力の森です。14 ページの、
02:05:40	14 ページ、15 ページの既許可会合資料からの抜粋のことと受け取っておりますが、抜粋したのはこちらに書いておる。
02:05:50	図はこちらの第 114 回審査会合資料から抜粋してございます。評価結果にパラメーター表はちょっと
02:06:01	いろんなパラメーターございますので各セグメントの茂木とマグニチュードがわかるように一部ちょっと記載をしまして、この日向灘の旧花田駅の
02:06:12	MW がわかるように赤四角で加筆してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:06:17	評価結果は
02:06:20	第 114 回審査会合資料では 3 成分ですね、お示ししてございますが、今回 NS 方向を代表して記載してございます。
02:06:29	15 ページも同様にパラメーター表をちょっと短縮しまして、MW がわかるようにお示ししております。それから評価結果も同様に倉庫をちょっと代表して記載してございます。
02:06:44	あ、ごめんなさい、14 ページのこの内閣府 2010 による南海トラフビークケースとか、
02:06:50	主な震源パラメーターとかですね。
02:06:52	南海トラフ巨大、乾木岡評価モデルとかっていう、こういうところも含めて、同じページからではないのかもしれないですけど、
02:07:00	切り貼りをして抜粋をして、一部加筆のこの赤枠ですね日向灘域。
02:07:06	ていうここに抜粋したと。
02:07:09	です。
02:07:21	この検討対象とした震源域とか、
02:07:24	うん。
02:07:28	ですよ。なんかその辺もですね多分いろんなところから持ってきてるんで、多分検討対象として震源域って多分何か別の意味での検討対象とした震源域であって、
02:07:39	今回の検討対象としてるものでは多分ないんだと思うんですけどね、ちょっとそういうところがですね、何かいろんなところから持ってきたものをちゃんぽんにしてるんで、わかりにくかったということです。
02:07:51	その上ですよ。
02:07:55	この間日は何だというと、今回多分長期評価で、
02:08:02	幾らか。
02:08:04	トータルとして M9 見てるといのはそうなんでしょうけど、
02:08:11	こういう例えば主な震源パラメータ、当時のものですよ日向灘域、Mw8.4。
02:08:18	ただ、トータルとしては、この Ss-N の検討の時には、
02:08:25	と M9 クラスで考えても、
02:08:30	Ss は超えないんです。もう長周期側は多分、あのエリアで長周期でかくなるような、多分最後スペクトル引いてたような気がしますけどね。
02:08:40	これは何か清川のときに説明しているこういうパラメーターだとか、そういったところに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:08:47	細かいところですね、部分的なところで何か更新される情報は、
02:08:53	あるんでしょうかそれともここで出てくる震源パラメータみたいなものは、
02:08:58	これは第1版から持ってきたわけじゃなくて内閣府の、
02:09:02	パラメータを持ってきてるんで第1版では直接は更新されないっていう。
02:09:08	どうなんですかね、このあたりもね、多分四国電力さんの方ね。
02:09:14	やっぱ説明上、この部分は大一般使ってないんで、別に
02:09:20	我が社の当時の評価のパラメータに影響しません。ここは第1版から持ってきたんで、ちょっと検討してみたけど高影響ありませんみたいな説明の仕方をされてるんで、対応関係がクリアなんですよね。
02:09:31	そこがわからないので、参考14ページ15ページ見ても、今回のその長期評価との関係がよくわからないがまあ、まあ当時こんなことやってM9見てましたが何となくM9で、
02:09:44	見てるの規模感が違いますねという説明にしかなくてない。
02:09:48	聞こえない。
02:09:49	ここは何か変わる部分あるんですかそこで、
02:09:57	はい。九州電力の徳永です。今回の時、
02:10:01	旧ANA及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価におきまして、震源パラメータとかの文献等が出ているわけではございませんで、地震活動に関する長期評価ということで今後起こり得る地震規模と発生確率が記載があるということで、今日ここに
02:10:21	パラメータがまずいか何か更新されるようなデータはないというふうに認識をさせていただきます。
02:10:30	はい。
02:10:32	なので、多分ここでいっているSs-Nの検討の時の、
02:10:39	Mpクラスの評価ですよね。このパラメータっていうのは、これ内閣府の2012の、もしこれが今後更新されるようなことがあって何か数字が変わるんだったら、そこは多分影響の確認みたいのはあるんでしょうけど、
02:10:52	そもそもここ自体は内閣府2012の方に依拠して、エセ参考しながらです。それを上回る規模を設定してるんで、というのが前提にあるわけですね。はい。
02:11:03	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:11:05	一方でた津波の、
02:11:09	そこも冒頭言ったように結局第1版の使われ方ですよね。だからそこら辺を多分はっきり書いた上で説明していかないと、
02:11:18	そのどこに更新されるような可能性がある情報があるのかというのは、見えない。
02:11:26	て、
02:11:30	津波が、16ページからなんですけどちょっとまずさっき論理が、
02:11:37	12ページで、南海トラフ許可、
02:11:43	へえ。
02:11:44	もともとどういう既往の津波が考え得るのかということで、
02:11:51	評価の評価時はや営業も、地震津波 MT8.5 を含む地震履歴やと言ってるので、
02:12:00	一応、
02:12:01	ここは、今回は
02:12:04	微妙に、
02:12:07	替わっ
02:12:08	てくるんですかね。
02:12:09	ただし分析した結果、いかが考えられるのを、南海トラフ Mw8.5 琉球海溝北部中部 8.0、琉球海溝南部 8.5。
02:12:22	これは、これも第1版から持ってきたわけじゃないのかな。これはどこ内閣府 2012 から持ってきたんでちょっとこの辺の、
02:12:30	関係をまず、評価フローでいうと、評価の評価フローという一つの丸ですね。
02:12:37	この部分、対応関係を教えてもらっていいですか。
02:12:40	九州電力の徳永です。まず履歴地震、津波、津波ですね、ということで第一パンを参照してございます。第ちょっと地震本部野田、第一波につきましては矢山。
02:12:54	地震津波に記載はありませんで、機械地震 1911 年喜界地震であったり、あともう一つなんだ。
02:13:05	AM 自身も記載があったんですけど、規模がかかって、すいませんちょっと正確にちょっと私が覚えてないんですけど、
02:13:17	履歴の実質化機械地震等を見てたと、いうことでございますで、今回その第2班の中で矢山地震津波を、今後、発生するものとして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:13:30	1771年の八重山地震津波タイプ MT8.5 というものを今回新しく設定を地震本部さんの方でされてるんですけども、
02:13:39	既許可のときに見ていたものから、新しく出た履歴地震というものは特にないという認識で置いてございます。以上でございます。
02:13:50	はい。なんでここ、
02:13:53	既許可のときには、長期評価の第一波ん時はバーになってたんで、多分、山内新田%なんですよ。どうなのか、記載はあったんですけど今後発生する地震としてやるんで津波、
02:14:05	地震があるとは書いてなかった。ああ、そうですか。はい。藤委員も規模を言及していてそこは持ってきてたんですかね。はい。古藤冬奈。
02:14:14	理科年表とかからそういうことですかちょっとそこら辺は李ですけど、単純に今後起こり得るかどうかが将来予測的なところで書いてなかったものが今回第2版で書かれたということではあるんですけど、
02:14:28	もともとこの矢山地震津波 MT8.5 というのはもともと当時から言われてた話で、何か今回更新されたわけではないから、
02:14:38	こういうことですね。
02:14:40	とする等、
02:14:43	ちょっとですねこの右側の影響確認結果のところ非常に粗くてですね。
02:14:49	これ多分最後の方まで、次の分析結果評価の評価のですね、
02:14:55	津波波源の設定とかシミュレーションでどのぐらいの規模を設定しますかというところで、多分 M9 クラスという話は多分初めて出てくるんだと思うんですけど。
02:15:04	何か少し先のことを書いてしまっていて、
02:15:08	何か南海トラフリーグ海溝で過去に起こったものの分析みたいなのところですよ。ここに何か更新情報があったのかないかよくわからないままですね。
02:15:19	最終的に M9 クラスで評価していて、それには包含されますよっていうところに話が飛んでしまうので、何かこのフロー図を使って説明されていると。
02:15:30	あれこれ、
02:15:31	影響確認結果確認結果って、どこのことを左側のどこのことに対し言ってるんだっていうふうになってしまうんですけど、うまく今の話を聞いてると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:15:42	既往の津波の分析のところでは、
02:15:47	多分、
02:15:49	更新がないのかなというふうには聞こえました。
02:15:55	うん。
02:15:59	今回そうすると、16 ページの個別で言うと日向灘のところは、
02:16:06	これはもともと、
02:16:08	持ってきているのは、
02:16:12	長期評価。
02:16:14	局評価では、
02:16:16	南海トラフの方長期評価第二版と内閣府の知見を踏まえて波源として設定してました。
02:16:25	従ってここで
02:16:28	Mw9.1 でやっていたので、今回の 8、
02:16:34	高台一般はここでは使ってないん。
02:16:40	ね旧金田の第 1 版は、むしろ南海トラフなんだから南海トラフのほうの第 2 版を使っていて、そこではもうこれもっと広い範囲を見てるんだから M9、9 ページで言うと、
02:16:52	ここが直接引用元から引用してませんということですね。
02:16:57	電力の徳永です今鈴木さんご指摘の通りでございます。
02:17:03	はい。今度がこの琉球海溝の方なんだけれども、
02:17:09	これは既許可の評価でもう、
02:17:14	これは何をもとに小村が内閣府のもので、
02:17:19	もともと藤北部中部南部というふうに分けていて、
02:17:24	それぞれ単独のものと、さらには、少し、311 も踏まえて、つなげるといって多分敷地から近い側の二つをつなげて北部中部 Mw9.1、
02:17:36	のところで見てましたと。
02:17:38	一応、
02:17:41	今回の第 2 版でいくと、多分 Mw9 クラスのものを想定され得るということではなくて、
02:17:50	少しあれですかね、18 ページのように、
02:17:54	評価領域を少し名久井島の周辺まで広げて、
02:18:00	この広い範囲のどっかで M8 クラスが起り得るでしょうと。
02:18:07	ていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:18:08	いるという評価なわけですね、どこかでこの辺のどこかでは起こります。
02:18:14	それはさすがにもともと敷地に近い側の北部中部つなげて Mw9.1 で見てるんでそれを上回らないでしょうと。
02:18:23	あと南部もうもともと同等斜が、あれですかね 100 ページ 8 ページの右下でいくと、救急介護南部と言われてるところも、
02:18:34	今ここだと今回与那国島周辺達しましたけどここはもともとカバーしていて、この端部単独でいくと、それも
02:18:44	いや当時 M7.198 ぐらいを見てましたではなくて、もともと M8 クラスを見ていたわけなんで、ここも更新されない。
02:18:53	うん。
02:18:57	注意、はい。
02:19:00	これもう許可のときには、なので第 1、3 号、
02:19:07	ここワーつば
02:19:10	てるのかというちょっと待ってくださいね。
02:19:13	12 ページに戻ると、南海トラフについてはここは内閣府 2012、
02:19:18	を使っていますと。
02:19:20	琉球海溝についてはといて、ここはそうか参考になるものがないか。
02:19:28	なのかな。
02:19:29	過ぎてたんでしたっけすいませんはい。九州電力の徳永です。基本その琉球海溝のモデル自体に目、明確に知見があったわけではないんですけども、
02:19:40	海溝軸の設定については、第 1 版を参照しているというものでございますんで、
02:19:47	今回第 2 版でも海溝軸の記載は照会程度で岩崎先生の分が図面上出てきてはいるんですけども、一般と日本で劇的にその海溝軸が変わっているというものではないというのを確認をさせていただきます。
02:20:01	以上でございます。
02:20:05	はい。なんで、起業家時には、その第 1 版は開校時期の位置は、
02:20:11	参照してました。で、いわゆるその北部中部南部で、それぞれどういう規模を設定してだとか、或いはさらにもう 31 踏まえてつなげるだとか、そうい
02:20:22	あ、
02:20:23	はあ話はですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:20:25	それは別にこの台帳強化のこの第1版を見ていたわけではなくて、
02:20:30	今回だから
02:20:32	一部南部領域のところですね。
02:20:37	琉球海溝南部のところを、実は許可で見ていたような範囲まで広げて、
02:20:42	評価してるんだけど、
02:20:44	規模感としてはカバーしてますと。
02:20:46	ちょっとこの辺りもですねちょっと許可の時にこの帳票課題一般っていうものはどういう形で、
02:20:52	関係参照されていたのかというところを、
02:20:56	やっぱり書いて方がですね。
02:20:58	そもそも状況が第1、おそらく直接的にもそうでしカンセキ的にかもするそうですけどね。
02:21:05	間接的に調教課題一般を使って何とかモデルがつくられていてそのモデルを参照してるんだったら、影響受けるかもしれないんで、
02:21:14	そういうところをからですね説明していただいた方が、何か急に裸で長期評価第二版というものを見比べながら、変わるか変わらぬかって見ていくと、
02:21:26	よりはですね、
02:21:27	圧倒的に説明をしやすい式やすいかと思いますので、
02:21:32	趣旨は大丈夫ですかね。そのあたりぐらいだと、逆に言うと思ってますけど。
02:21:38	九州電力の徳永です。既許可の時に第一パン、何を参照していたかというともきちんと整理記載した上で、今回、影響を受けるのかどうかというものを見えるような形で整理を、
02:21:50	もう一度させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
02:21:55	はい。
02:21:56	よろしくお願いいたしますその上で、あとこちらのハザード評価なんですけど、地震動でいうとそもそも先ほどの限界というよりもそもそもハザード評価上、
02:22:09	出てこないわけですね。
02:22:12	プレート内プレート間は、
02:22:14	そもそも
02:22:15	一方で津波のハザード評価上はなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:22:19	この辺りはどうなるんですかね多分ちょっと別に、これも少し堀田の例でいうとこれも、
02:22:27	あれかな、大一般の知見を使ってるかどうかというところなんでハザード評価のツリーでやっていくときに、
02:22:35	更新されるのかというと、
02:22:37	これも、
02:22:39	されない。
02:22:40	ですかねえ。
02:22:42	多分ハゲモデルとか、何か
02:22:45	ちょっと当時の羽田の評価はあれですけど、
02:22:49	より何かいろんなモデルを参照したりして、そこに影響がするのかっていうと、既許可の機能は、津波ハザード評価上、
02:23:00	ちょっとどういうやり方をしたかなっていうのは、あんまり細かくは見えないんですけどそこにも影響してこないっちゃうことなんですかね。
02:23:07	はい。九州電力の徳永です。既許可のときの津波のハザード評価につきましては、
02:23:14	決定の決定論評価に基づきまして津波のハザードの寄与度が大きいプレート間地震とか1活断層による津波を、
02:23:24	この二つを選定してまして、この決定論評価に持っておいて考慮した津波波源の不確かさをロジックツリーとして分岐を作って作成をしています。
02:23:35	で、このうちその発生頻度等々で、地震本部の2013だったり土木学会の手法というのを採用して、ハザードを作っているわけなんですけども、
02:23:47	今回のこの地震本部のパソコンと版ですね、とか、今回のものをもとと参照しているわけで、この評価手法自体を参照しているわけではないということと、
02:23:59	今回第2版書に改定がなされているんですけど基本第1版のやり方をそのまま第2版は踏襲をしまして、領域が変わったということでその領域の中で起きた地震の回数とかを、アズイズ化されてまして、それからポアソン仮定に基づいて、
02:24:15	廃炉出し直していると、あと最新の地震も少し足し合わせてたと思うんですけど、そういったやり方をしているということで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



02:24:22	最初、
02:24:23	結論といたしまして基本、評価の時にやったやり方を今回の長期評価の第一波なしに第2版のやり方を参照しておりませんので、影響受けないというふうに認識をさせていただきます。
02:24:36	以上でございます。
02:24:41	はい刀禰ちょっと東直下の確率論的ハザード評価津波の方ですかね。
02:24:47	見てます。
02:24:49	衛藤土木が標高別に1000人意見書国家2000人と僕は津波評価部会2011を参照にあって、
02:24:59	ここで見てるのは、
02:25:01	内閣府2010、
02:25:06	はいはいはい。
02:25:09	まだここも何かシンプルに言うと、伊方流に言うと、だから参照しなかった以上ということなんですねはいわかりました。はい。
02:25:18	うん。
02:25:20	はい。
02:25:24	なるほど
02:25:28	ちょっと、
02:25:29	ちょっと最後の産総研は最後とっておくとして、これはよろしいですか。千田。
02:25:35	長期評価の方。
02:25:38	よろしければ最後サツ尊敬の参考でついているものなんですけど、
02:25:43	これー、
02:25:45	ちょっとですね結論としては24ページで、強化評価時にそもそもこの産総研2021でやっている地質調査所ですね、
02:25:57	DH841843公開のデータっていうのはそもそも入っておりますよと、より新しいデータで評価してますよっていうのはまあそうなんですけど、
02:26:08	産総研2022のところ引かれている、この敷地周辺、
02:26:14	松木周辺といっても、どちらかと仙台沖今、産総研の地質でいうと北の端っこの方なんで、ただ一部の断層は、
02:26:25	許可で御社が評価してるような敷地周辺の会議の活断層とかぶるんだと思うんですけど、そもそも評価自体例えば断層の場所だとか長さだとか、そこ自体なんか多分あるんですがそもそも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:26:38	そこに差があるんだけどその差というのはこの 28、24 ページで言っているようなもんだって、これは別に、影響はないんですという話なんです。
02:26:47	だとは思いますが、そもそも差があるのかないのかとかですね、といえばこって地質図なので、別に活断層という意味だけではなくていわゆるその、
02:26:57	過去のその火山灰とかの火山性物質の体積比。
02:27:01	とかですね、そういうところには、これは何か関係ないのか、あくまで、
02:27:06	音波探査の結果で断層だけ聞きましたっていう地質図なんですかね。
02:27:11	ちょっとそこら辺も含めて、この地質なるものにかかれてる情報で、本社の許可の時、活断層評価だとか、火山とかですね、そんなところでの説明と違う部分があるんですかという。
02:27:24	ところを、
02:27:26	書いてもらわないと。
02:27:28	いきなりやとはいえずねいずれにしても 24 ページなんですとだけあると何か違いがあったのかないのか。
02:27:35	わからないので、
02:27:37	そこはどうなりましたっけ、何か断層も、
02:27:40	微妙に位置が違うんですけど長さ違うのかな。
02:27:46	九州電力の徳永です仙台の一番影響が大きい敷地前面のところでは一番、メインでいきます、我々の FFB と言っていたところこれにつきましては基本同じような断層長さが対比されています。
02:28:00	で、
02:28:01	一方吹上浜、ちょうど右下ぐらいですかね FD 断層と当社言っていたところが一部ちょっと長さが違ったりするところがございました。
02:28:11	なのでちょっとこの辺はちょっと今、もう空中戦でちょっとお話してもわかりづらいのできちんと提示をさせていただきたいなと思っております。以上でございます。
02:28:25	はい。よろしく申し上げます。
02:28:27	あと、
02:28:30	バーンとか堆積物の方は、
02:28:35	そんなに変わらないのかな。一部公募。
02:28:39	本例見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:28:41	堆積物火山
02:28:43	火山岩類は海ではないかこれは陸かな、火砕流とかも、ここは海域の海底地質だから、陸側は多分どっかから借りてきましたということなんで、
02:28:54	こちらにも言及するまでもなく違いがないということですかね。はい。
02:28:59	少なくともこの海底地質図で、断層の評価、そもそもデータが全く違うというのが、
02:29:06	浅井はありますけど、
02:29:07	例えば、ちょっとここはさすがに部屋の、
02:29:10	いや、
02:29:11	御説明しないと御社でも参考でつけましたということだと思うんですけど、張りここはこういう違いがあるんだけどその理由はコーナー24ページの通り、
02:29:21	で、
02:29:22	という、そういう説明で、していただきたいかなと思いますのでよろしくをお願いします。はい。
02:29:28	主幹いたしました。
02:29:30	はい。一応、長期間、先ほどの限界も含めてですけれども、三河溜花といますか。
02:29:45	よろしいですかねはい。そうするとこれは直接、ちょうど今標準応答スペクトルの審査で、地盤斜面まで少し間があるので、その間に少し、
02:29:58	公開の場でお話伺おうとは思ってます。ちょっと具体的にどこのタイミングではめるかっていうのはまた、
02:30:05	決めますけど、
02:30:08	とはいえですねもう1回話を、
02:30:12	きしておいた方がいいとは思いますが、等々です。
02:30:17	もともと、
02:30:18	優先するのは、多分、玄海内は喋んの資料はいただいているので、川内の地盤斜面の作業とかは別タスクでやられているら、
02:30:28	になるとは思いますが、優先順位的には、
02:30:33	今日が26日で、ちょっといつぐらい2位出てきていつぐらいに話が聞けそうかというのは、
02:30:48	少し、いろいろ調べも改めて整理し直さないといけないところもちょっとありますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:30:56	できれば盆前には、しっかりと出したいなと思ってるんですけどちょっと改めていつぐらいに出せそうかという目でもまた別途ご連絡させていただくような形をとらせていただいてもよろしいでしょうか。
02:31:19	そうするとお盆の前なんできるだけお盆の前に資料を渡したい。
02:31:24	という感じですか。
02:31:29	11杯までには、
02:31:33	そうするとですね、ちょっと図限界の地盤斜面次第ではあるんですけど
02:31:39	多分それはさすがに、
02:31:41	特重も含めてなんであれですけど、当然8月中はないかなと。
02:31:47	わかりましたちょっと取引資料として、
02:31:50	どのぐらいに出せるのか、っていうところ今後ちょっとあれでも、
02:31:55	この会合のタイミングでIIを使うかというのは、まだ考えなきゃいけないんで、
02:32:01	少し持ち帰るってことですね。
02:32:04	うん。
02:32:07	そこら辺はまたご連絡いただいてもよろしいですか。はい。明石でございますちょっと当社の作業の見通しについてはもう共通にちょっと検討した上ですぐご連絡をしたいと思います。
02:32:21	要は、基礎地盤の安定性の話がありそれより前に、できれば8月中にこの長期評価をと。
02:32:32	いう会合に持っていきたいと考えると、もう来週早々には脱してお盆前にはヒアリングをお願いしないとというペースだと思うんですけども、
02:32:43	ちょっと今日のお話を踏まえておそらくちょっとプロファイルの確認をして特に止めの話とかですね、ちょっと整理をしなければいけないところがあるので、そこを妙に急いで何か不確かな資料にしても、いけないと思いますのでそこはちょっと、
02:32:58	確実に資料を仕上げるとして、いつごろまでかかりそうか。
02:33:02	というご連絡とともにちょっと今後、スケジュール感として、
02:33:07	だとするとこうなりそうだとこのところまでちょっと、我々頭の整理をした上でご連絡を差し上げたいと思います。
02:33:14	以上です。
02:33:17	はい。よろしく申し上げます。いずれにしても来週は、
02:33:21	地盤斜面のヒアリングの方を優先で、
02:33:25	菅1回目までやってないんで、そちらを優先で考えてますけどはい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:33:29	じゃあ、そこはご連絡待ちということでよろしいですかね。はい。
02:33:35	では以上で、特になければヒアリング終了しますけども、よろしいですか。
02:33:40	はい。
02:33:42	では以上でヒアリングを終了します。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。